LIXIL

ジャンボスライドN-AL型 Fタイプ（電動） 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警 告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注 意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
🔑ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

⚠警 告

●門扉は人や車が出入りするためのものです。使用用途、目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時、扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注 意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

🔑ポイント

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
●控え柱の取付けにラチェットレンチ、ソケット（呼び10）が必要ですので、準備してください。
●チェーンの取付けに六角レンチ（呼び2.0、3.0、4.0、6.0）が必要ですので、準備してください。

＜施工上のご注意 つづき＞

注 意

●扉走行床面は水平に仕上げてください。
●電装商品の場合は配線工事を有資格者の専門業者にご依頼ください。
●施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
●製品破損による人への被害、物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
・ボルト・ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後に、緩みがない事を確認してください。
・ボルト・ネジは締付けすぎない（被結合部材の破損、ねじが塑性伸びを起こさない状態）ようにしてください。

ネジ種類	タップ側材質		
	鋼材	アルミ	樹脂
φ4ネジ	1.5 N·m	1 N·m	0.75 N·m
M4ネジ			
φ5ネジ	3 N·m	1.5 N·m	−
M6ボルト	5 N·m	2.5 N·m	−
M8ボルト	25 N·m	12.5 N·m	−

ポイント

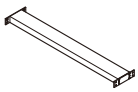
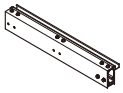
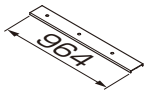
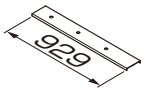
●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

INDEX

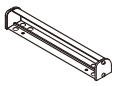
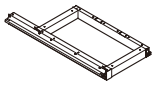
1　梱包明細表…… 4
2　基本寸法…… 8
　1. F1タイプ…… 8
　2. F2タイプ…… 9
　3. F3タイプ…… 10
　4. F4タイプ…… 11
　5. 本体連結仕様…… 12
3　本体の施工…… 13
　1. 台車の組立て…… 13
　2. チェーンの取付け…… 17
　3. 台車の設置…… 19
　4. フレームの組立て…… 20
　5. 框の取付け…… 24
4　パネルの施工…… 27
　1. F1パネルの場合…… 27
　2. F2パネルの場合…… 31
　3. F3・F4パネルの場合…… 32
　4. 笠木の取付け…… 34
5　部品の取付けと調整…… 35

1　梱包明細表

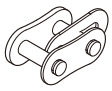
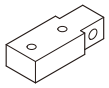
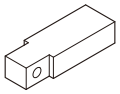
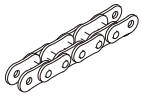
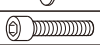
【1】パネルフレーム

名　　称	略　図	員　数				
		単　独	先　頭	後　部		
				L10	L20	L30
中桟		2	2	1	2	3
上桟		1	1	1	1	1
桟溝カバー端部		4	2	2	2	2
桟溝カバー中間部		2	4	−	2	4

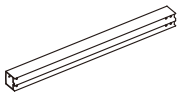
【2】台車

名　　称	略　図	員　数		
		単　独	先　頭	後　部
側桁前カバー		1	1	−
台車		1	1	1

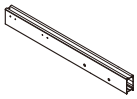
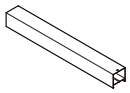
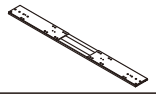
【3】電動チェーン

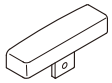
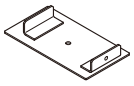
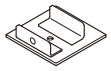
名　　称	略　図	員　数
チェーンジョイントリンク		2
チェーンテンショナー（1）		1
チェーンテンショナー（2）		1
チェーンテンショナー（3）		1
ローラーチェーン		1
【3-1】M5バネ座金		2
【3-2】M5×20六角穴付ボルト		2
【3-3】M5平座金		2
【3-4】M4バネ座金		4
【3-5】M4×12六角穴付ボルト		4
【3-6】M4平座金		4
【3-7】M8×60六角穴付ボルト		1
【3-8】M4×5六角穴付止めネジ		1

【4】控え柱

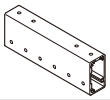
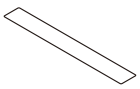
名　　称	略　図	員　数
控え柱（横）		1
控え柱（縦）		1
控え柱ブラケット（下）		1
控え柱ブラケット（上）		1
控え柱ブラケット（中間）		1
【4-1】M6×20六角ボルト（PW+SW）		2
【4-2】M6×12トラス小ネジ		4
【4-3】M6×16 六角ボルト（PW+SW）		12
【4-4】M6×35六角ボルト		2
【4-5】M6平座金		2
【4-6】M6バネ座金		2

【5】框

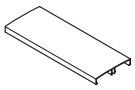
名　　称	略　　図	員　数
戸当り框		1
後框		1
框取付材		左右各1

名　　称	略　　図	員　数
笠木端部キャップ		2
戸当り框下キャップ		1
後框下キャップ		1
【5-1】M4×10トラス小ネジ		4

【6】組立部品

名　　称	略　　図	員　数				
		単　独	先　頭	後　部		
				L10	L20	L30
戸車セット		4	2	4	4	4
チェーンホルダA端部カバー		左右各1	左右各1	−	−	−
下桟連結スリーブ		−	−	1	1	1
後桁連結スリーブ		−	−	1	1	1
前後ストッパー		1	−	1	1	1
上桟連結スリーブ		−	−	1	1	1
連結部シール		−	−	1	1	1
転倒防止金具		4	2	4	4	4
【6-1】M8×16六角ボルト（PW緩み止め付）		7	3	12	11	11
【6-2】φ4×10トラスタッピンネジ3種		18	18	6	12	18
【6-3】φ5×10サラタッピンネジ3種		16	16	8	16	24
【6-4】φ5×60ナベタッピンネジ2種		16	16	−	−	−
【6-5】M8×20六角ボルト（PW緩み止め付）		4	−	4	4	4
【6-6】M6×16六角ボルト（PW+SW）		10	6	8	8	8
【6-7】M4×20サラ小ネジ		16	16	−	−	−
【6-8】M6×16ナベ小ネジ（PW+SW）		−	−	4	4	4
【6-9】M6×20六角ボルト（PW+SW）		−	−	12	12	12
【6-10】M4×16トラス小ネジ		4	4	−	−	−

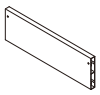
【7】上桟笠木

名　　称	略　　図	員　　数
上桟笠木		1

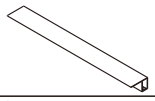
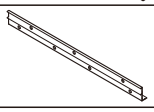
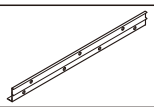
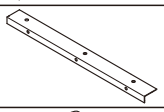
【8】パネル（F2・3・4タイプ）

名　　称	略　　図	員　　数		
		F2	F3	F4
F2パネル		1	−	−
F3パネル		−	1	−
F4パネル		−	−	1
【8-1】φ4×13サラドリルネジ		2	−	−
【8-2】φ4×10トラスタッピンネジ3種		4	−	−

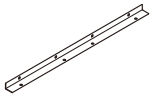
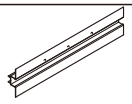
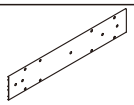
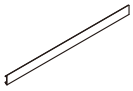
【9】意匠板（F1タイプ）

名　　称	略　　図	員　　数
F1意匠板		1

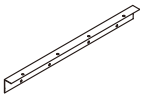
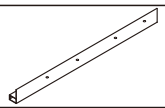
【10】F1取付部材

名　　称	略　　図	員　　数			
		端　部		中　間	
		H12	H14	H12	H14
F1板張り端部枠		2	2	−	−
F1板張り端部取付材右		1	1	−	−
F1板張り端部取付材左		1	1	−	−
F1板張り中間取付材		−	−	2	2
【10-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種		32	38	26	32

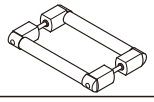
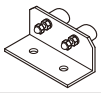
【11】パネル取付部材（中間用）（F3・4タイプ）

名　　称	略　　図	員　　数		
		H12	H14	H16
パネル中間取付材		2	2	2
パネル中間枠		1	1	1
パネル中間枠スペーサー		1	1	1
パネル中間枠フタ		1	1	1
【11-1】φ4×13ナベドリルネジ		10	10	12
【11-2】φ4×19ナベドリルネジ		3	3	3
【11-3】M4×6ナベ小ネジ		8	8	8

【12】パネル取付部材（端部用）（F3・4タイプ）

名　　称	略　　図	員　　数		
		H12	H14	H16
パネル端部取付材		2	2	2
パネル端部枠		2	2	2
【12-1】φ4×10トラスタッピンネジ3種		8	8	10
【12-2】M4×6ナベ小ネジ		8	8	8
【12-3】φ4×20ナベタッピンネジ3種		8	8	8

【13】部品セット

名　　称	略　　図	員　数
ハンドルセット		1
後部ストッパー		1
落し棒		1
スペーサー		2
前ストッパー		1

【13】部品セット（つづき）

名　　称	略　　図	員　数
落し棒受け		2
【13-1】φ10×60 後施工アンカーおねじ		2
【13-2】M10×40 後施工アンカーめねじ		2
【13-3】M10バネ座金		2
【13-4】M10×25六角ボルト		2
【13-5】M10平座金		2
【13-6】M6×30 ナベ小ネジ（SW）		2
【13-7】M4×16六角穴付ボルト		1
【13-8】M4バネ座金		1
取付説明書<D631>	−	1
取扱説明書<UD098>	−	1
取付説明書<D632>	−	1

2　基本寸法

1. F1タイプ

1-1　片開き

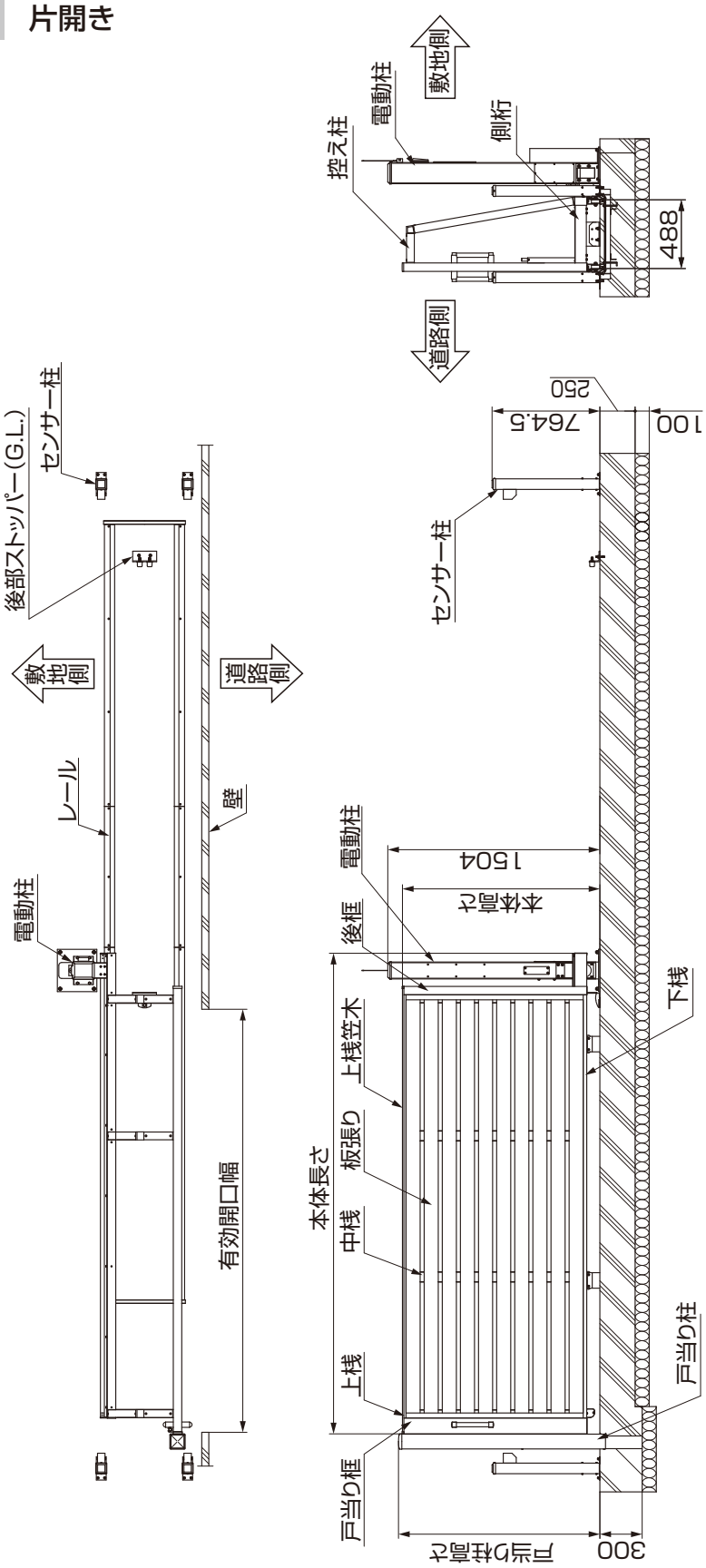


表1-1

	有効開口幅	本体長さ
W30	3000	3408
W40	4000	4408
W50	5000	5408
W60	6000	6408

表1-2

	本体高さ	戸当り柱高さ
H12	1200	1228
H14	1400	1428

D631_201504A

2. F2タイプ

2-1 片開き

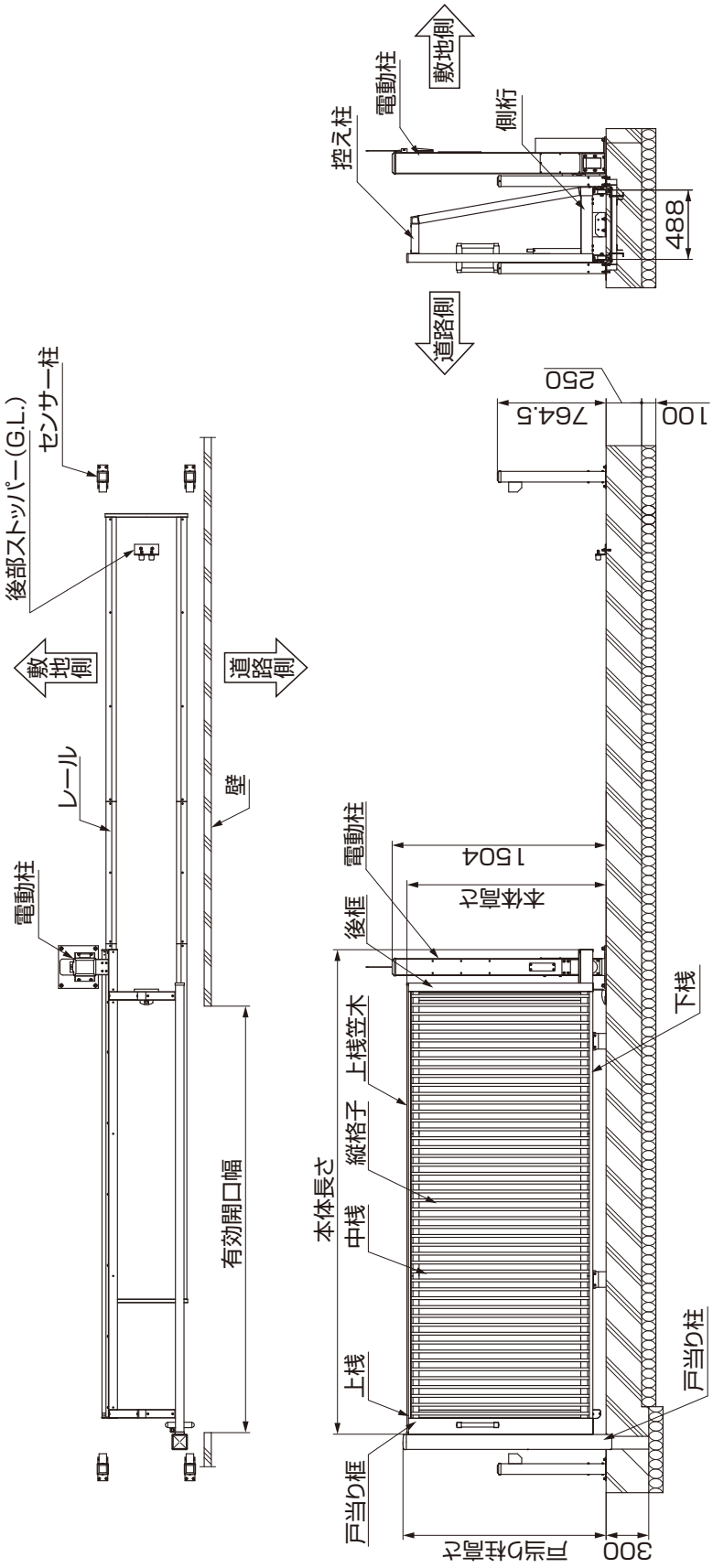


表2-1

	有効開口幅	本体長さ
W30	3000	3408
W40	4000	4408
W50	5000	5408
W60	6000	6408

表2-2

	本体高さ	戸当り柱高さ
H12	1200	1228
H14	1400	1428
H16	1600	1628

D631_201504A

3. F3タイプ

3-1 片開き

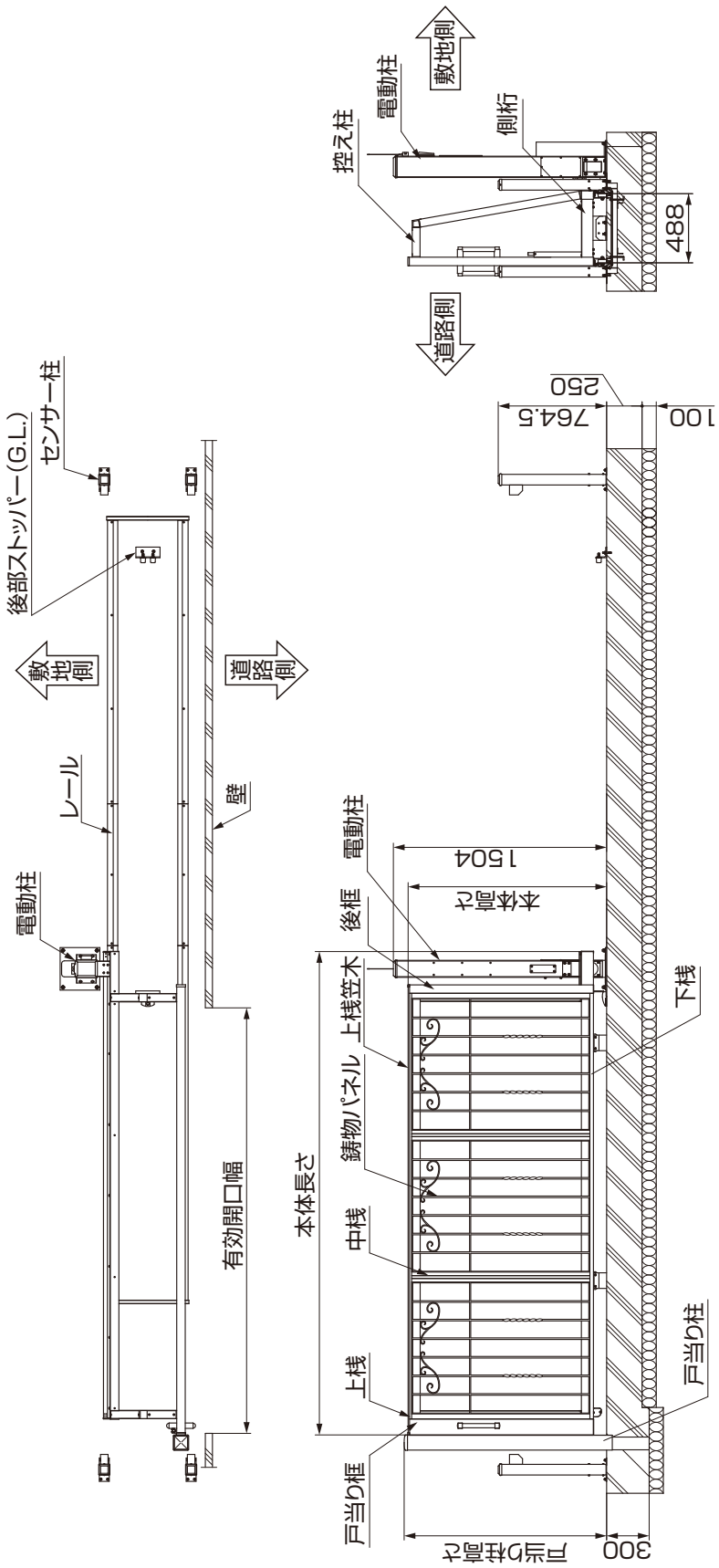


表3-1

	有効開口幅	本体長さ
W30	3000	3408
W40	4000	4408
W50	5000	5408
W60	6000	6408

表3-2

	本体高さ	戸当り柱高さ
H12	1200	1228
H14	1400	1428
H16	1600	1628

D631_201504A

4. F4タイプ

4-1 片開き

表4-2

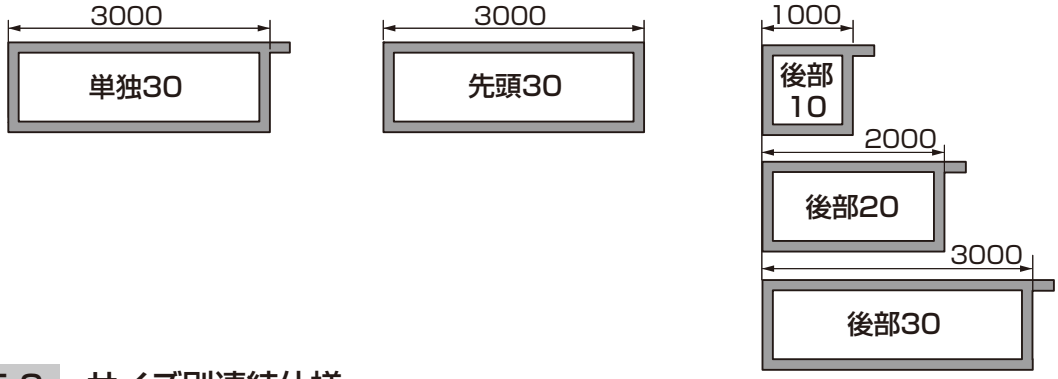
	本体高さ	戸当り柱高さ
H12	1200	1228
H14	1400	1428
H16	1600	1628

表4-1

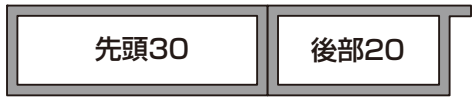
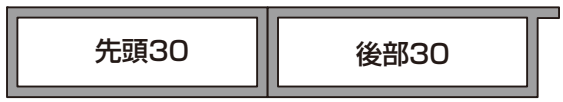
	有効開口幅	本体長さ
W30	3000	3408
W40	4000	4408
W50	5000	5408
W60	6000	6408

5.本体連結仕様

5-1 本体ユニット



5-2 サイズ別連結仕様

W30 (単独30)	
W40 (先頭30+後部10)	
W50 (先頭30+後部20)	
W60 (先頭30+後部30)	

3　本体の施工

1. 台車の組立て　※台車の組立ては梱包材の上で作業を行ってください。

1-1　戸車の取付け

（1）取付け位置の確認

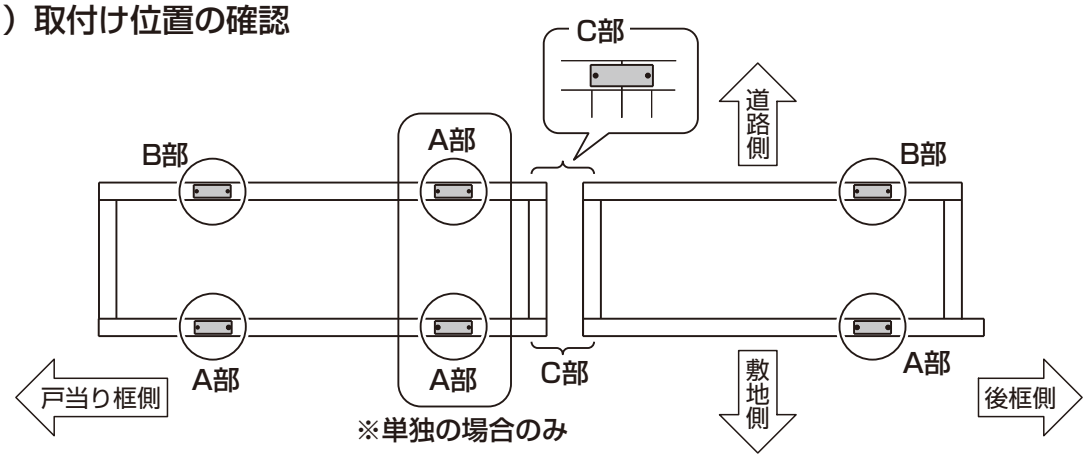
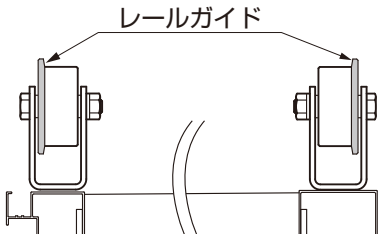


図1-1　先頭台車　戸車取付け位置
　　単独台車　戸車取付け位置

図1-2　後部台車　戸車取付け位置

ポイント

●戸車はレールガイドが外側になるように取付けてください。



①戸車の取付け位置を確認してください。

（2）A部の取付け

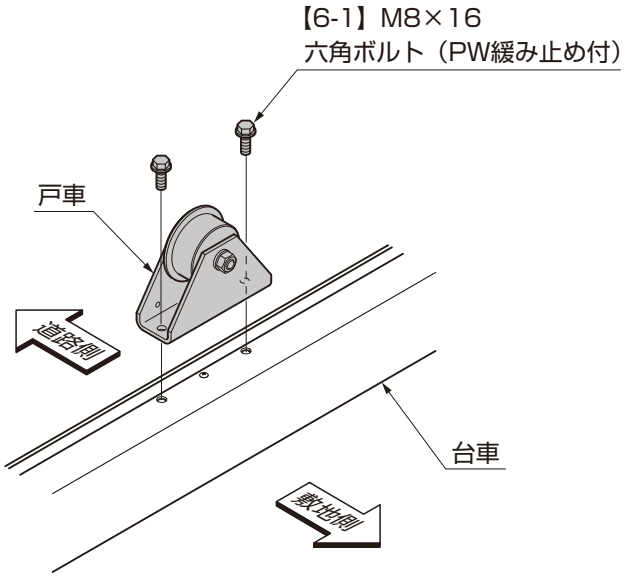


図1-3　A部の場合

①台車の下桟に戸車を【6-1】で取付けてください。

1.（つづき）

1-1 つづき

（3）B部の取付け

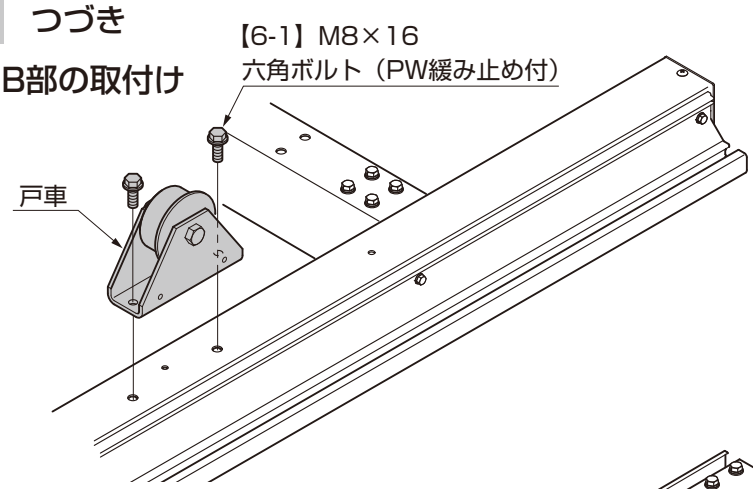


図1-5　B部　単独、後部L10の場合

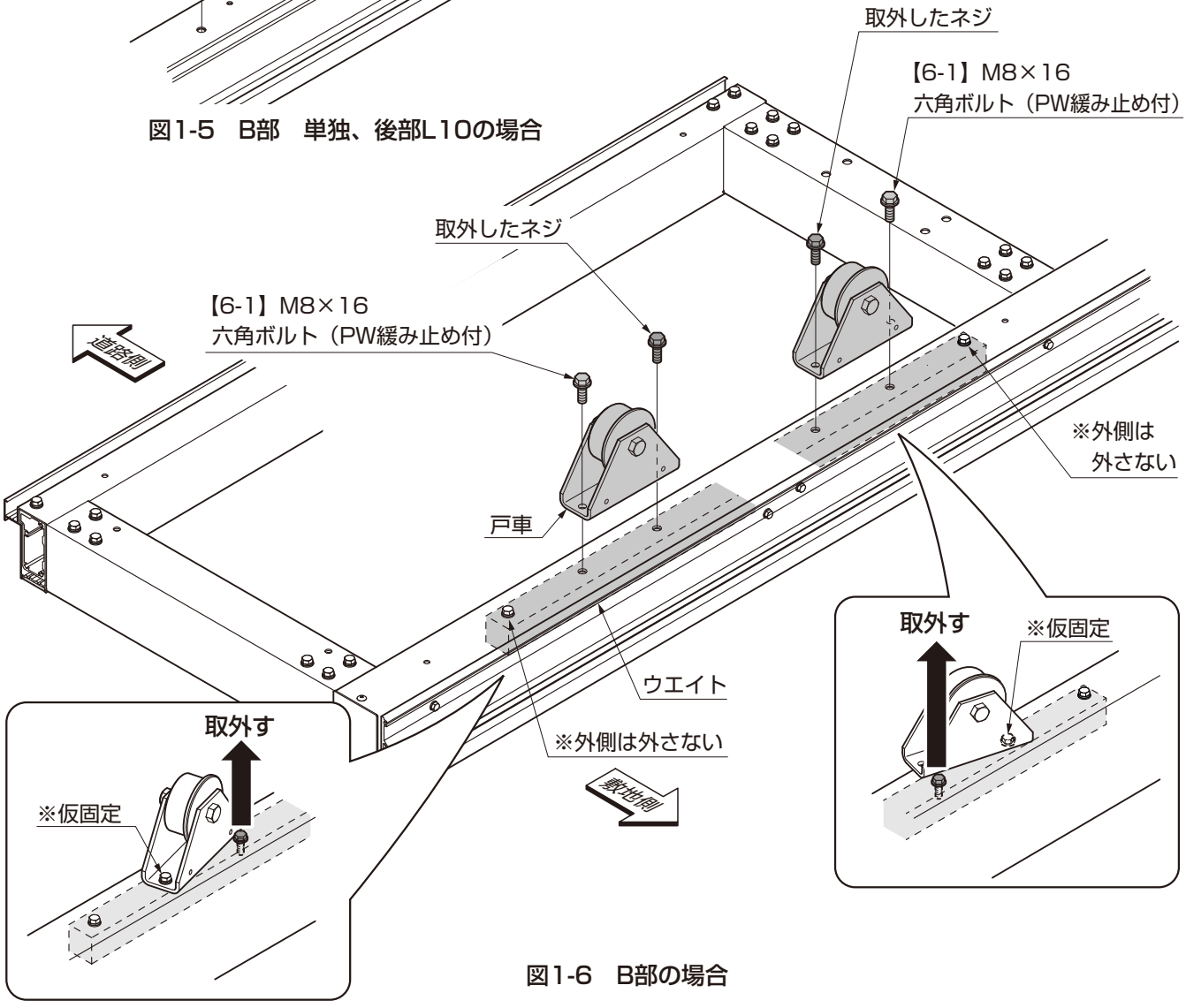


図1-6　B部の場合

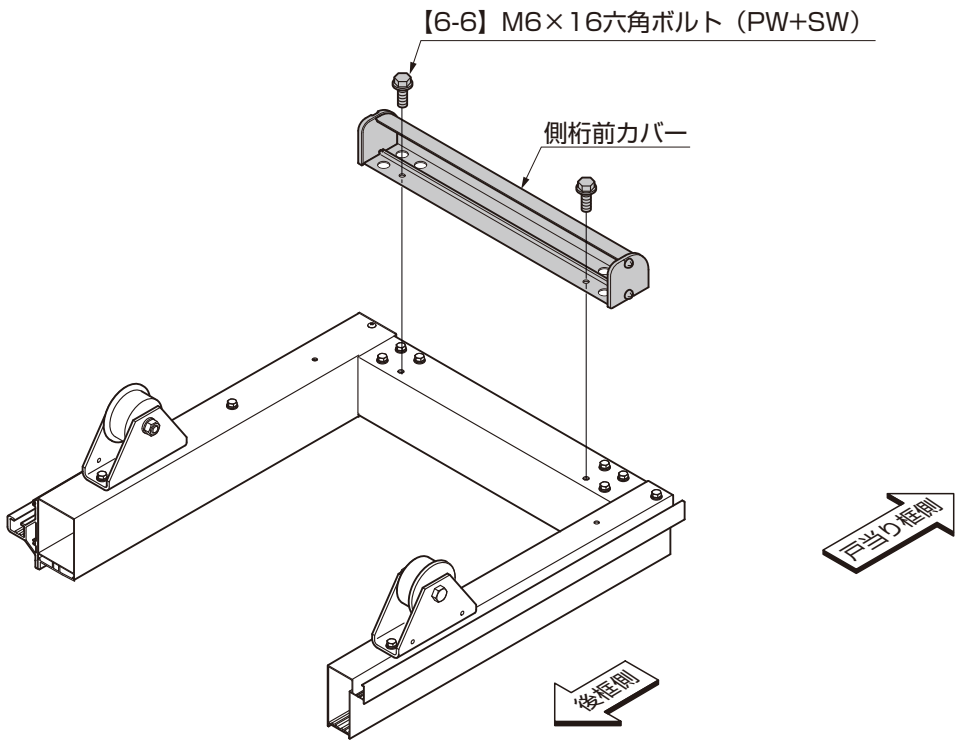
①戸車を【6-1】で仮固定してください。
②台車のウエイトを取付けているボルトを1本取り外してください。
③②で取り外したボルトと【6-1】で戸車を取付けてください。

ポイント

●ウエイトは六角ボルト2本で取付いています。戸車を取付けるために取外すボルトは1本だけです。2本とも取外してしまうとウエイトが外れて、戸車が取付けられなくなります。

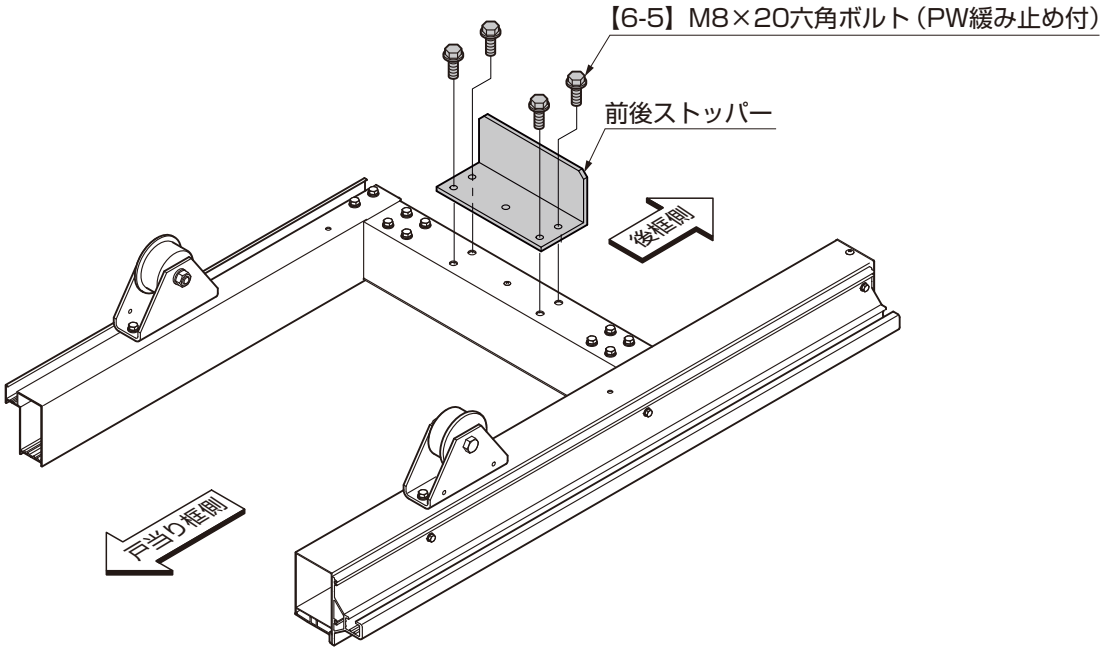
D631_201805C

1-2　側桁前カバーの取付け　※先頭・単独の場合の作業です。



①側桁前カバーを【6-6】で取付けてください。

1-3　前後ストッパーの取付け　※後部・単独の場合の作業です。



①前後ストッパーを【6-5】で取付けてください。

1.（つづき）

1-4　連結部（C部）の取付け　※連結の場合の作業です。

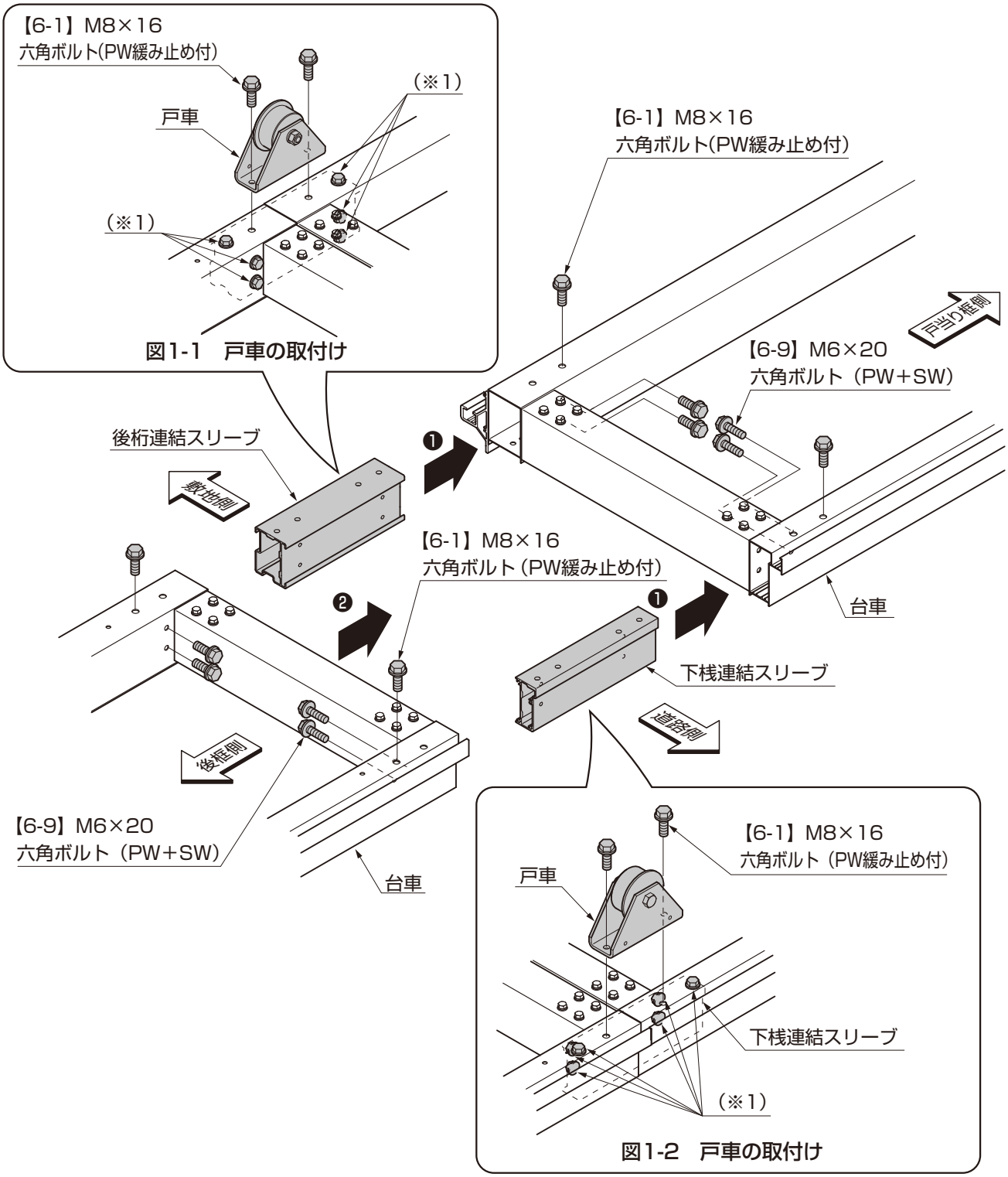


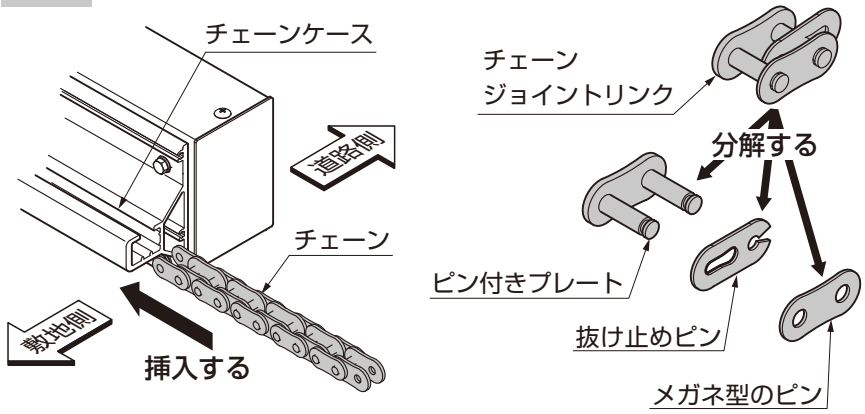
図1-1　戸車の取付け

図1-2　戸車の取付け

①下桟連結スリーブ、後桁連結スリーブを戸当り框側の台車に差込み、【6-1】、【6-9】で仮固定してください。
② ①に後框側の台車を差込み、【6-1】、【6-9】で仮固定してください。
③戸車を【6-1】で取付けてください。（図1-1、図1-2参照）
④ ①、②の仮固定した【6-1】、【6-9】を本締めしてください。（図1-1、図1-2参照）（※1）

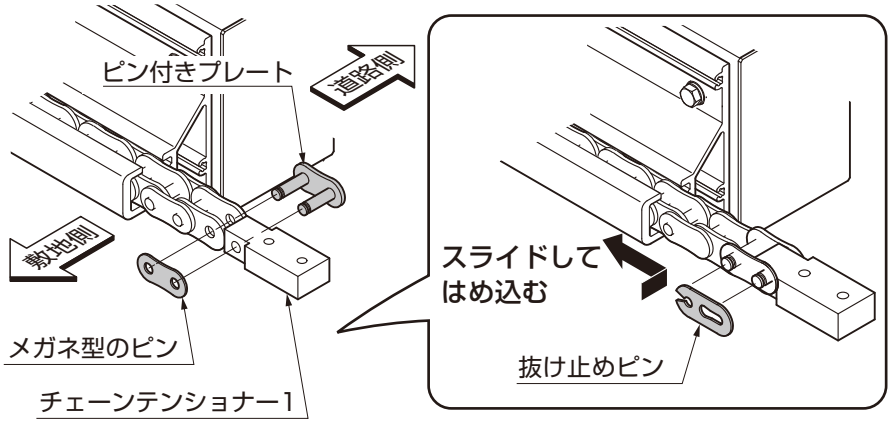
2. チェーンの取付け

2-1 チェーンの取付け前準備



①チェーンをチェーンケースに挿入してください。
②チェーンジョイントリンクを3部品に分解してください。

2-2 チェーンテンショナー1の組立て



①後框側のチェーンの端部とチェーンテンショナー1にピン付きプレートのピンを挿入してください。
②抜き出てきたピンにメガネ型のピンをはめ込んでください。

ポイント

●カチッと音がなるまではめ込んでください。

③抜け止めピンをスライドしてはめ込んでください。

2-3 チェーンテンショナー2・3の組立て

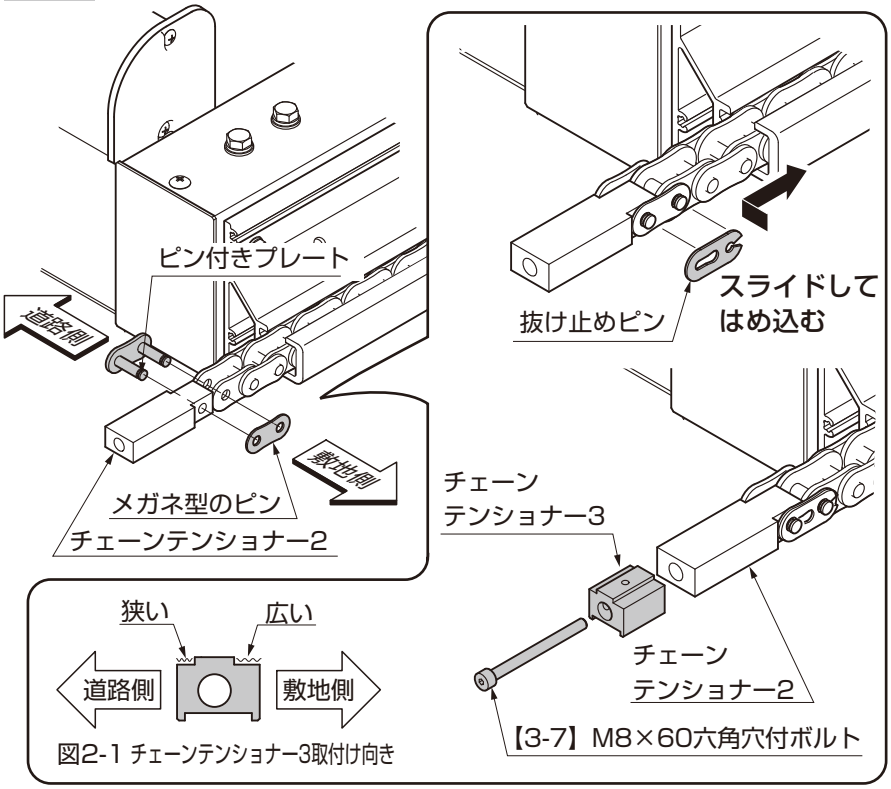


図2-1 チェーンテンショナー3取付け向き

①戸当り框側のチェーンの端部とチェーンテンショナー2にピン付きプレートを挿入してください。
②ピンにメガネ型のピンをはめ込んでください。

ポイント

●カチッと音がなるまではめ込んでください。

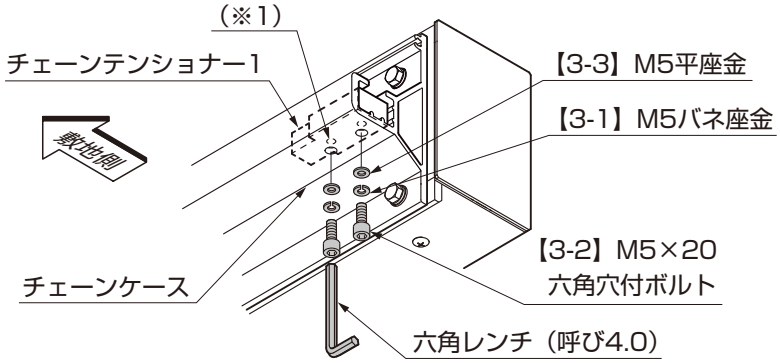
③抜け止めピンをスライドしてはめ込んでください。
④チェーンテンショナー2と3を【3-7】で仮止めしてください。

ポイント

●チェーンテンショナー3には取付け向きがあります。取付け向きを間違えると固定できなくなります。（図2-1参照）

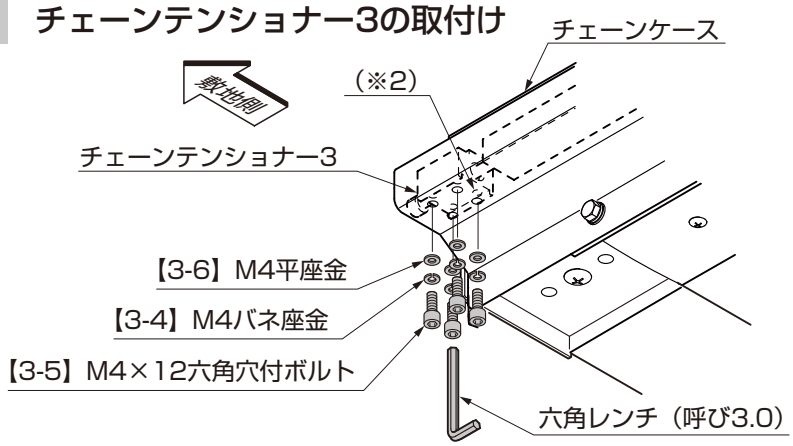
2.（つづき）

2-4　チェーンテンショナー1の取付け



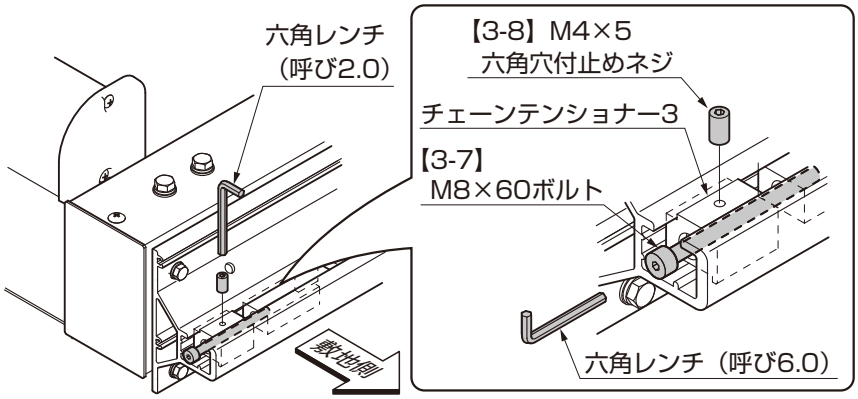
①チェーンテンショナー1のタップ（※1）とチェーンケースの穴位置を合わせて【3-1】、【3-2】、【3-3】で取付けてください。

2-5　チェーンテンショナー3の取付け



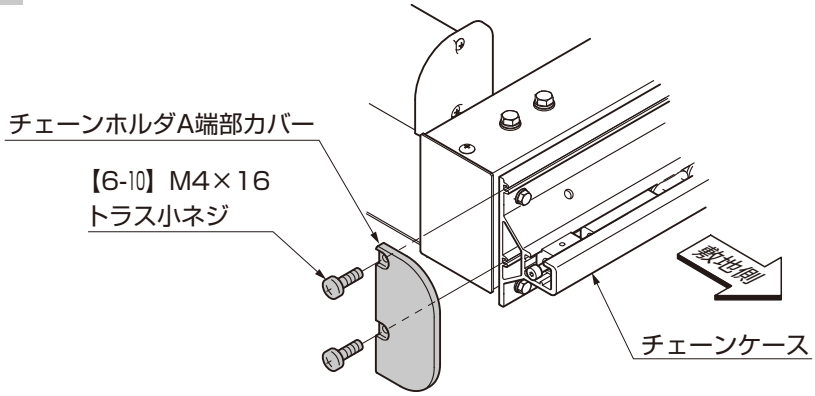
①チェーンテンショナー3のタップ（※2）とチェーンケースの穴位置を合わせて【3-4】、【3-5】、【3-6】で取付けてください。

2-6　チェーンテンショナーの調整



①チェーンテンショナー3に取付けてある【3-7】を締め込み、チェーンが張るように調整してください。
②チェーンが張ったら、チェーンテンショナー3に【3-8】を取付けてください。

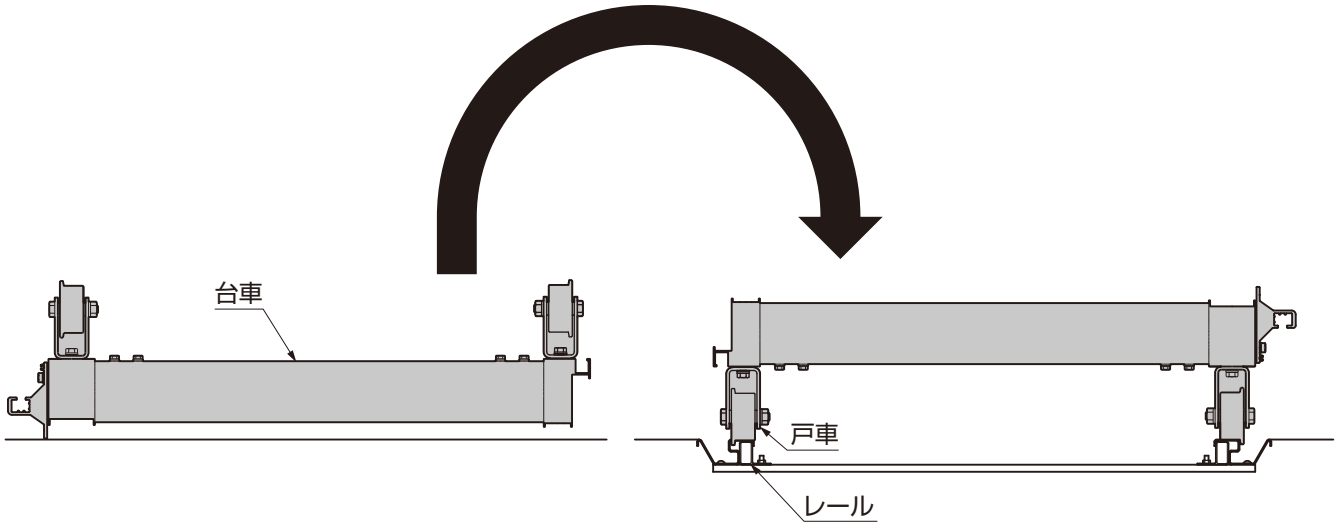
2-7　チェーンホルダA端部カバーの取付け



①チェーンホルダA端部カバーをチェーンケースに【6-10】で取付けてください。

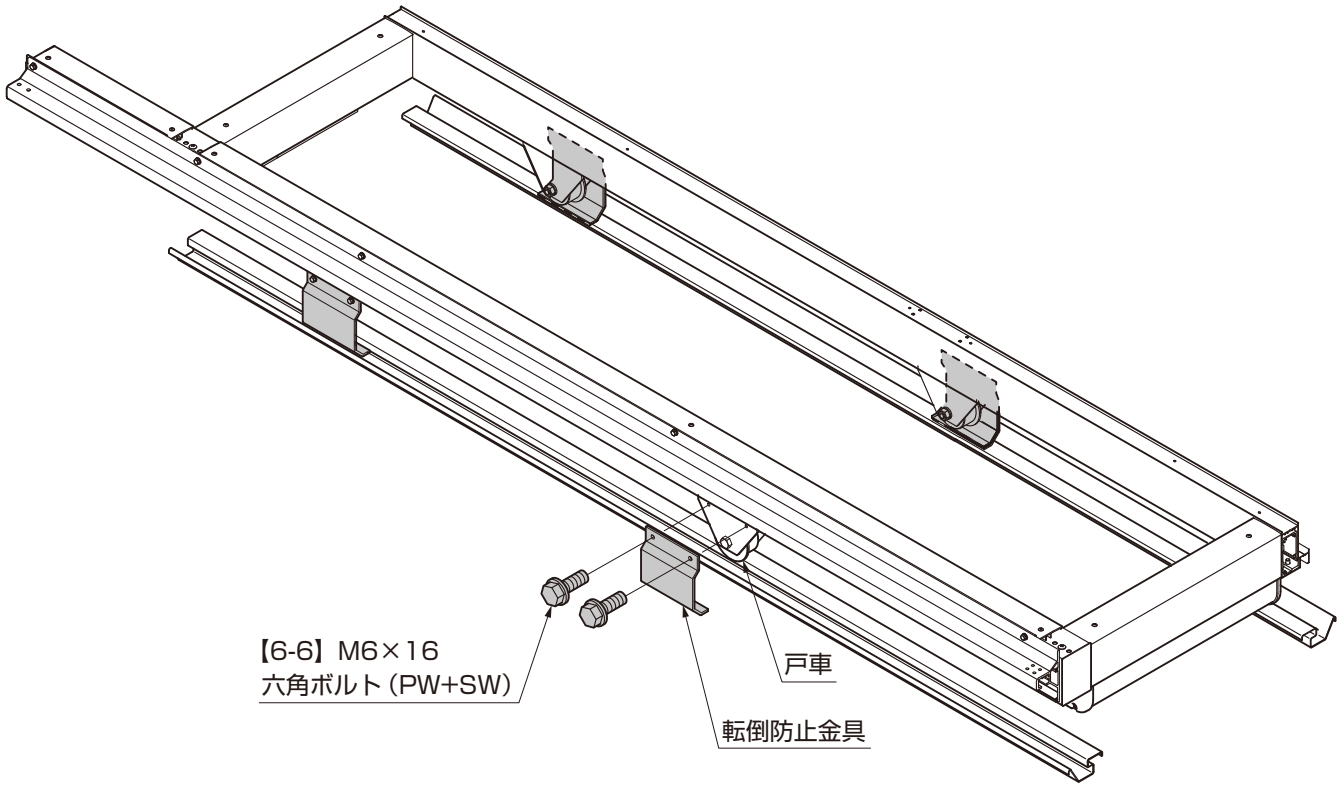
3. 台車の設置

3-1 レールへの設置



①台車を回転させて、レールの上に台車をのせてください。

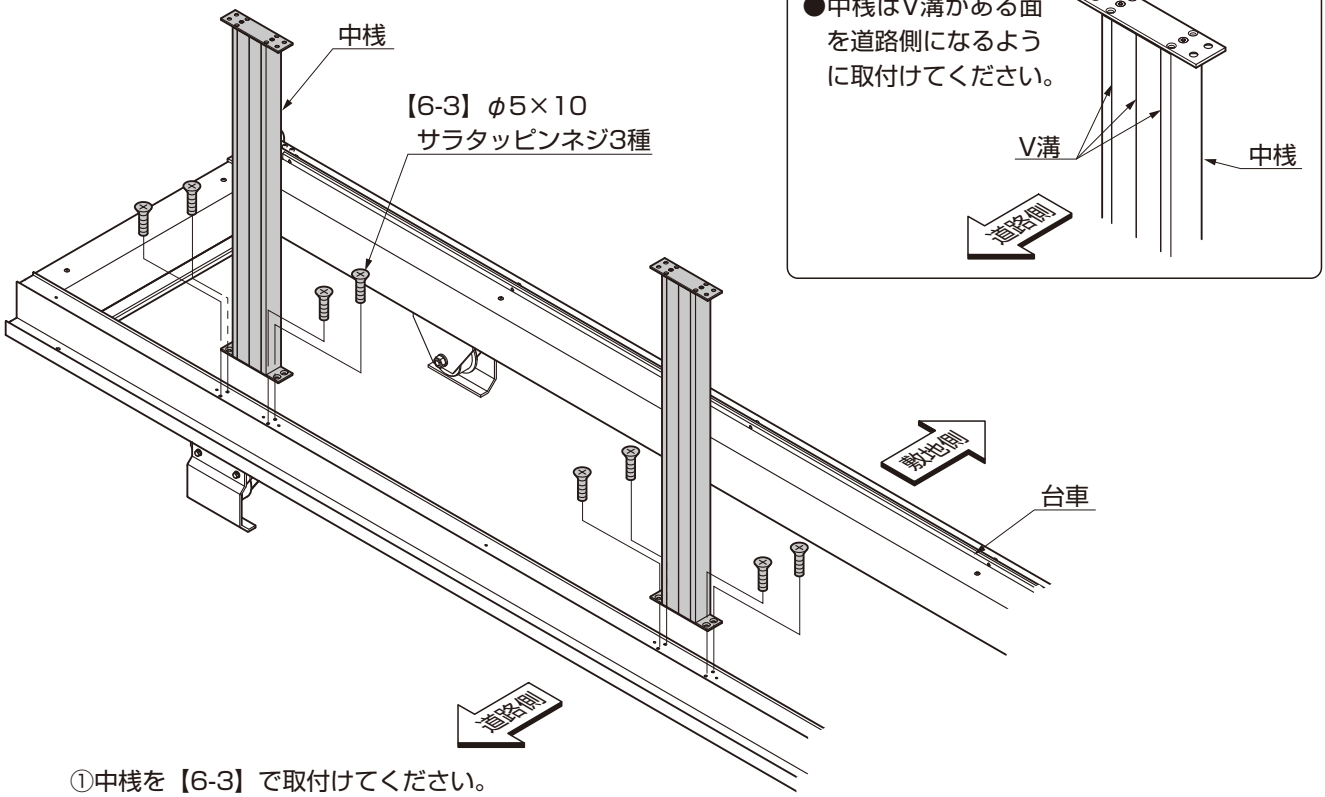
3-2 転倒防止金具の取付け



①転倒防止金具を戸車に【6-6】で取付けてください。

4. フレームの組立て

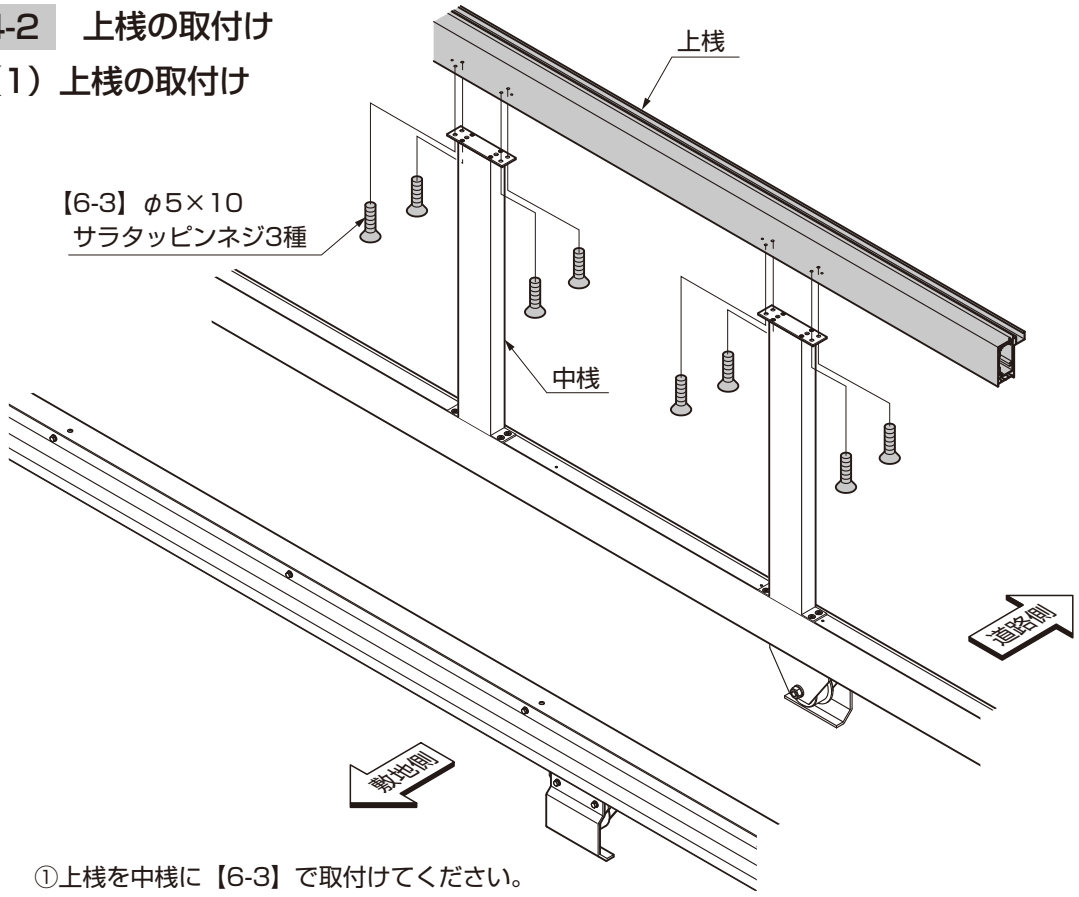
4-1　中桟の取付け



①中桟を【6-3】で取付けてください。

4-2　上桟の取付け

（1）上桟の取付け



①上桟を中桟に【6-3】で取付けてください。

（2）上桟の連結　※連結の場合の作業です。

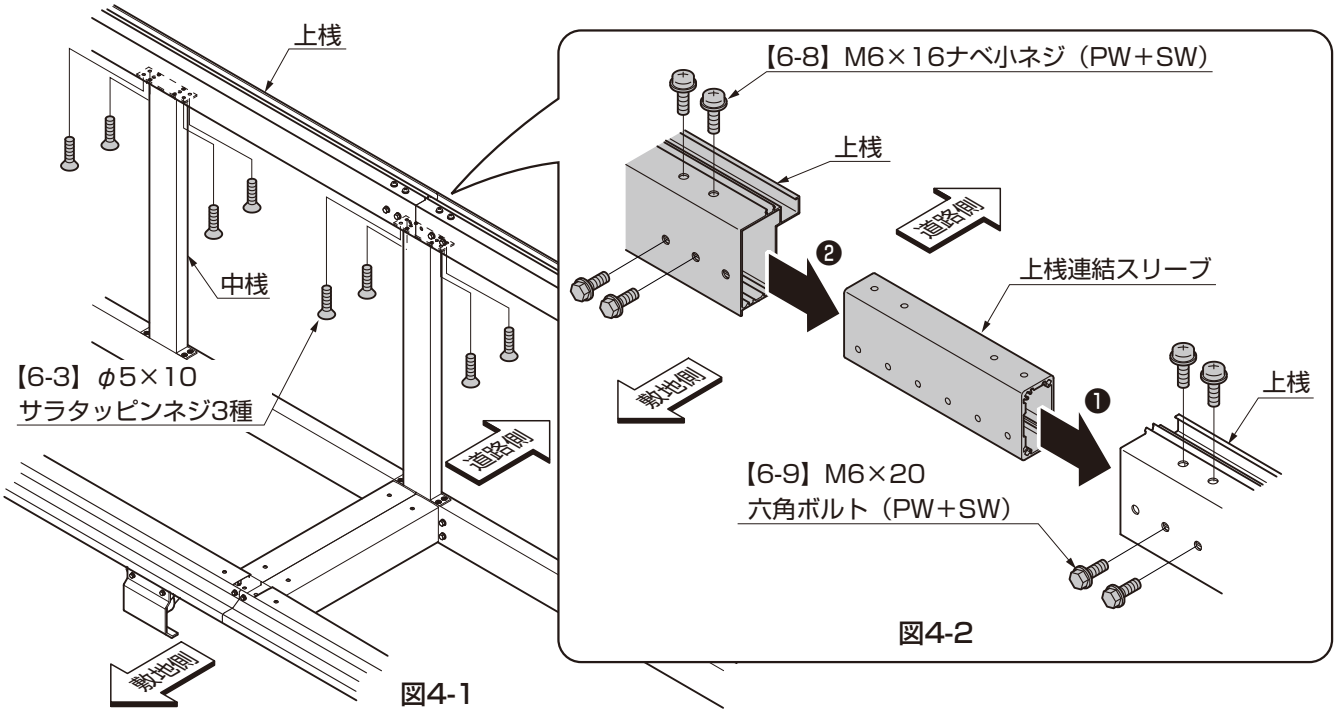
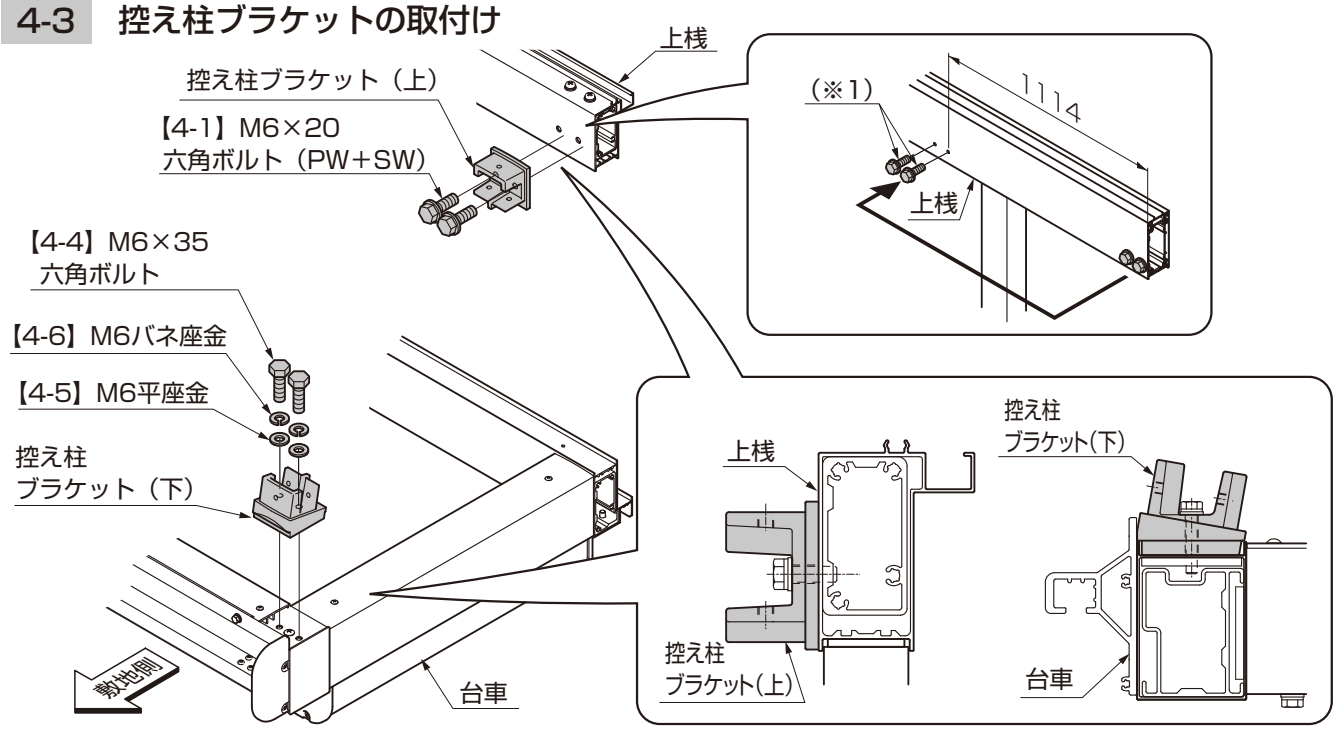


図4-1　図4-2

①中桟に取付けた上桟に上桟連結スリーブを差込み、【6-8】、【6-9】で仮固定してください。（図4-1参照）
②もう片方の上桟を仮固定した桟連結スリーブに差込み、【6-8】、【6-9】で取付けてください。（図4-2参照）
③①で仮固定した【6-8】、【6-9】を本締めしてください。（図4-1参照）
④取付けた上桟に中桟を【6-3】で取付けてください。（図4-2参照）

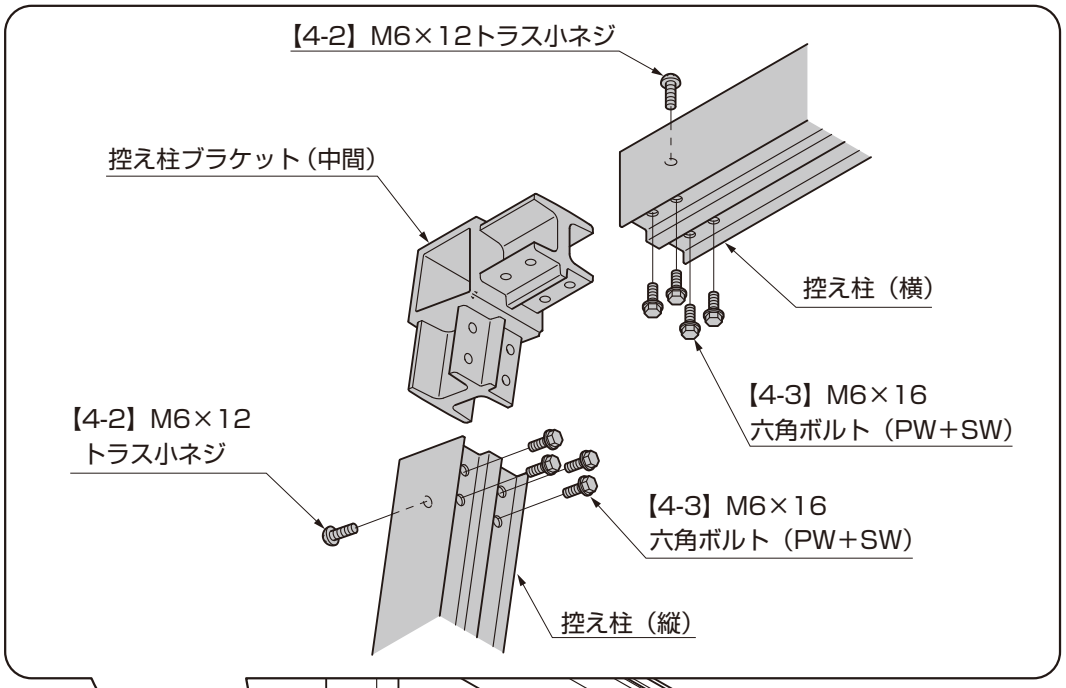
4-3　控え柱ブラケットの取付け

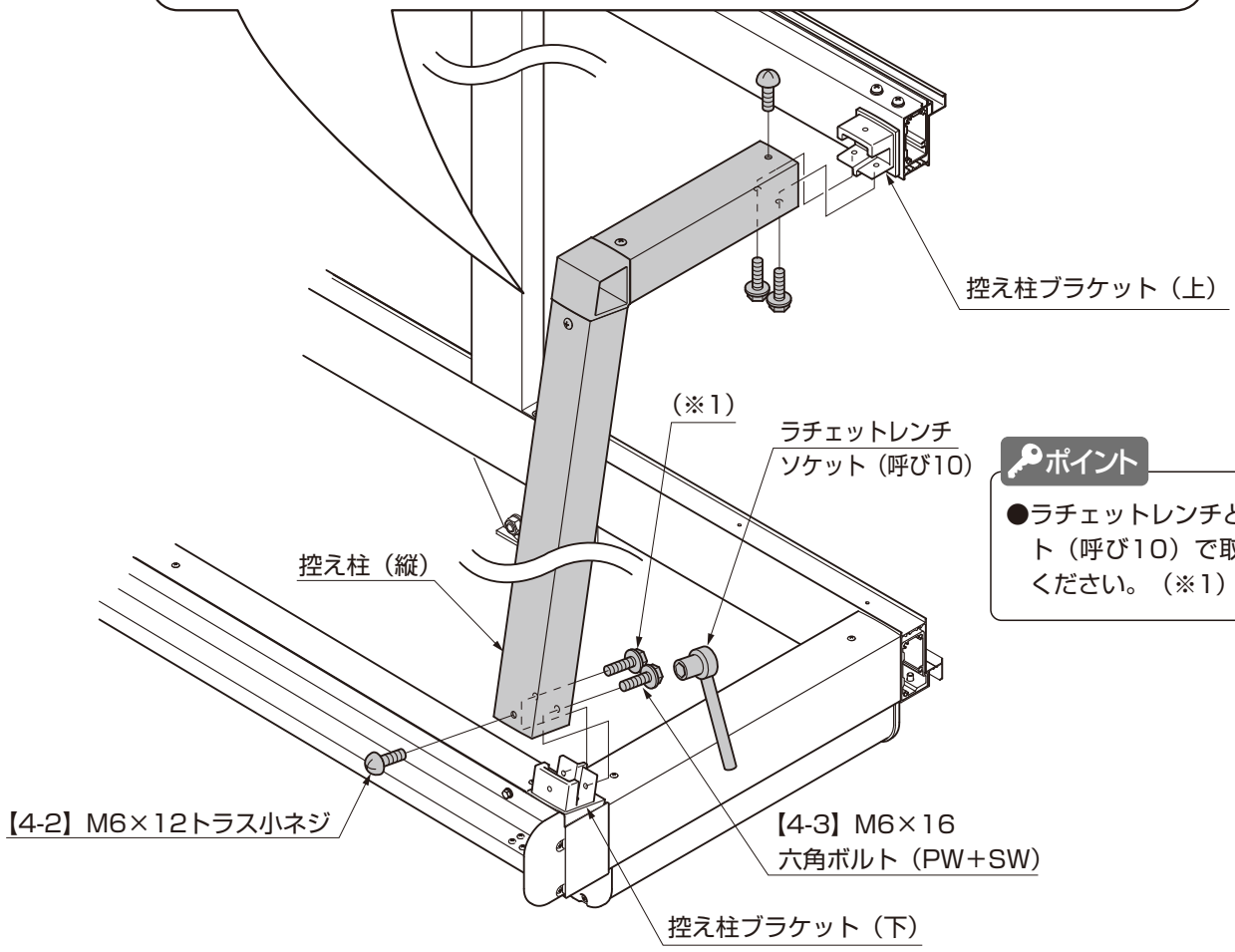


①上桟の先頭部に取付いているボルトを外して、先頭から1114の取付穴に取付けてください。（※1）
②控え柱ブラケット（上）を上桟に【4-1】で取付けてください。
③控え柱ブラケット（下）を台車に【4-4】、【4-5】、【4-6】で取付けてください。

4.（つづき）

4-4 控え柱の取付け





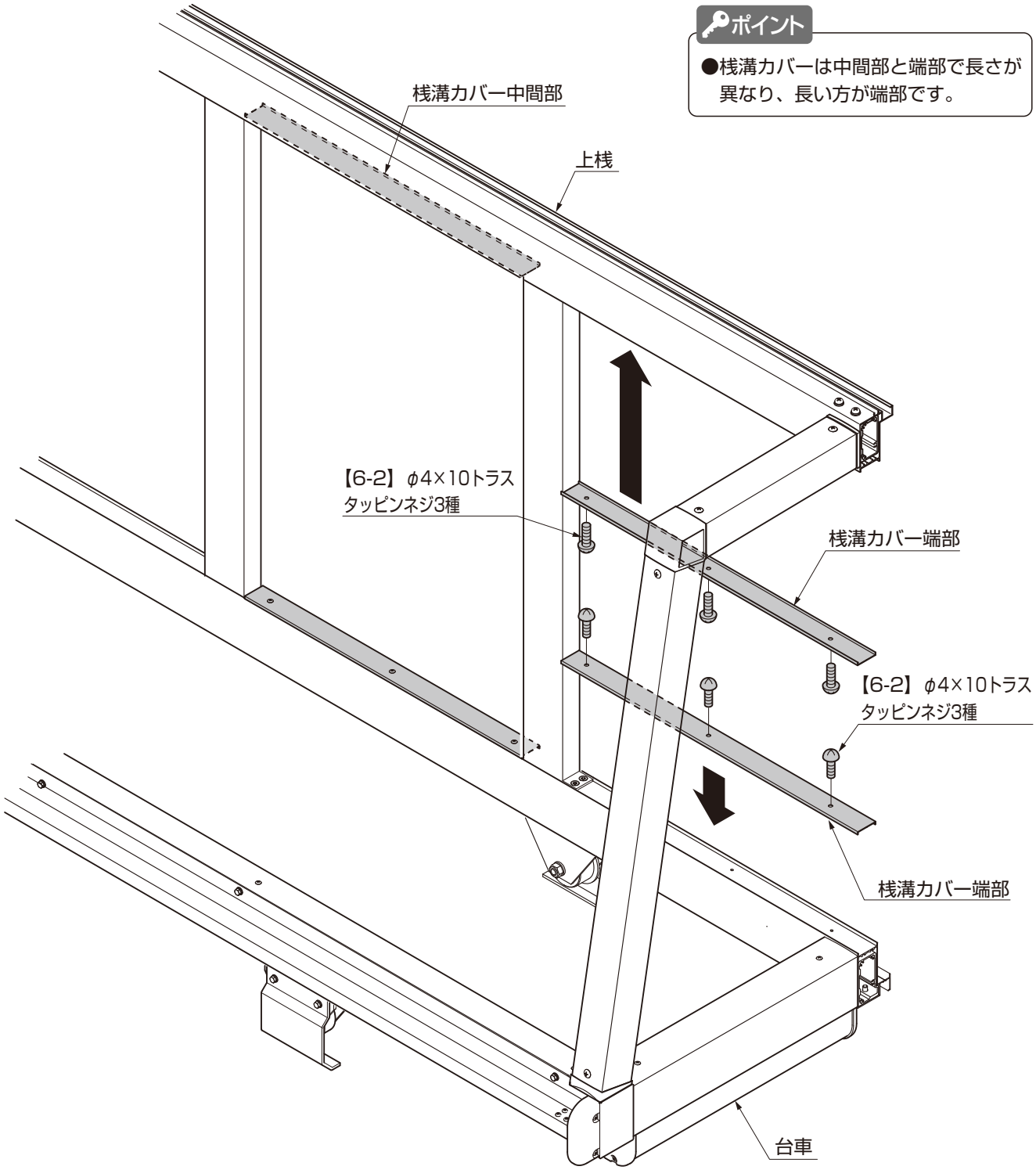
ポイント

●ラチェットレンチとソケット（呼び10）で取付けてください。（※1）

①控え柱ブラケット（中間）に控え柱（横）、控え柱（縦）を差込み、【4-2】、【4-3】で仮固定してください。
②①を控え柱ブラケット（下）に挿入してから、控え柱ブラケット（上）に挿入し、【4-2】、【4-3】で取付けてください。
③①を本締めしてください。

D631_201507B

4-5　桟溝カバーの取付け



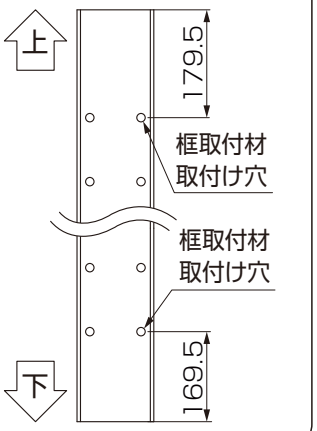
①桟溝カバーを上桟・台車の溝にはめ込み、【6-2】で取付けてください。

5. 框の取付け

5-1 後框の取付け ※単独・後部の場合の作業です。

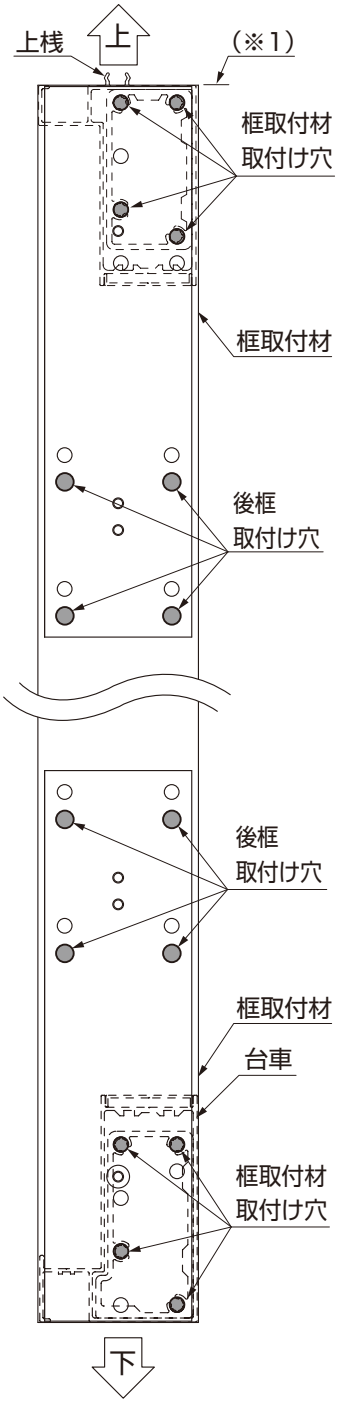
ポイント

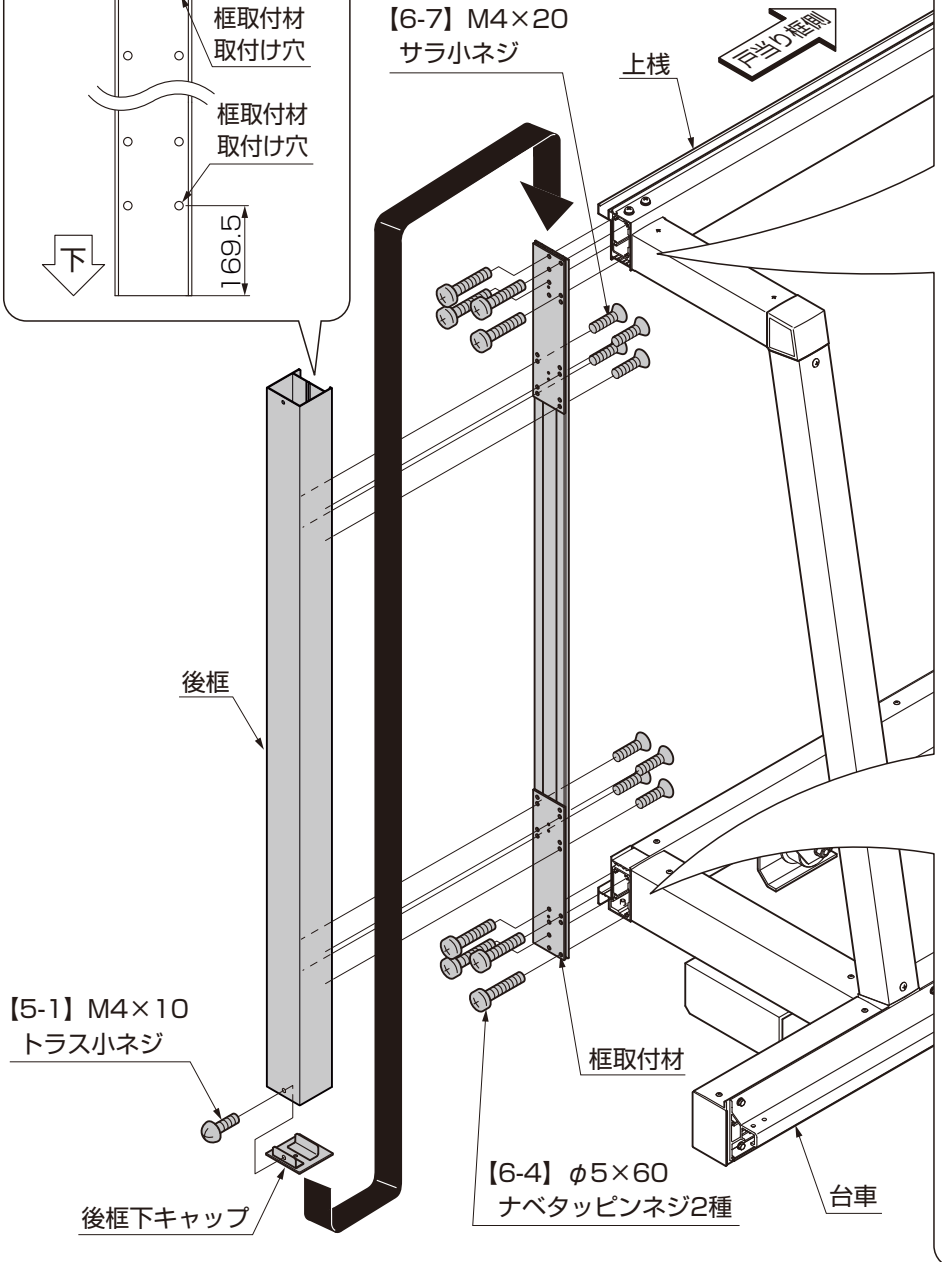
●後框には上下があります。下図を参照し、向きに注意して取付けてください。



ポイント

●框取付材の端部と上桟の上面がそろうように取付けてください。（※1）

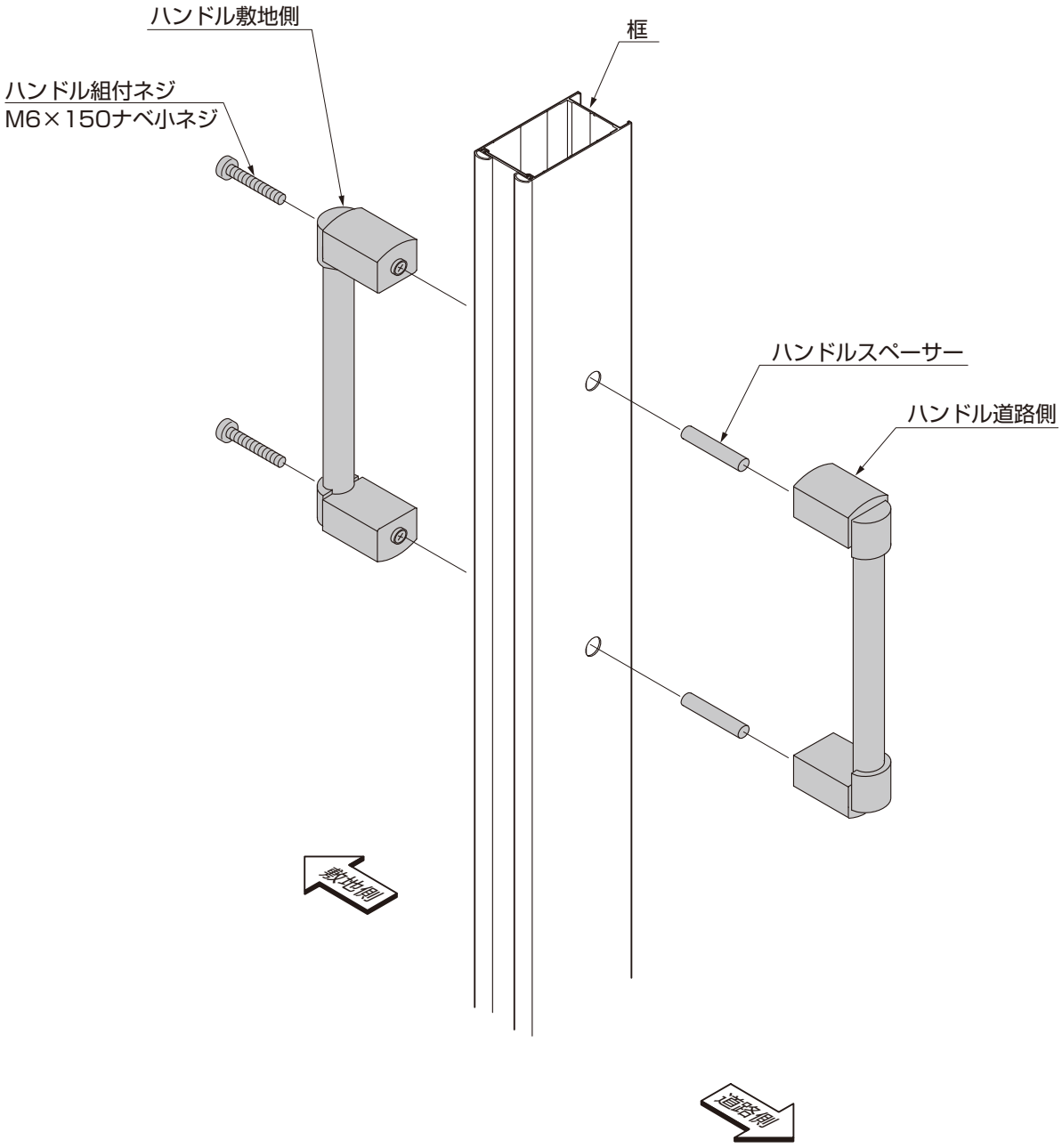




①框取付材を上桟と台車に【6-4】で取付けてください。
②後框を框取付材に挿入し、【6-7】で取付けてください。
③後框下キャップを【5-1】で取付けてください。

D631_201507B

5-2　ハンドルの取付け



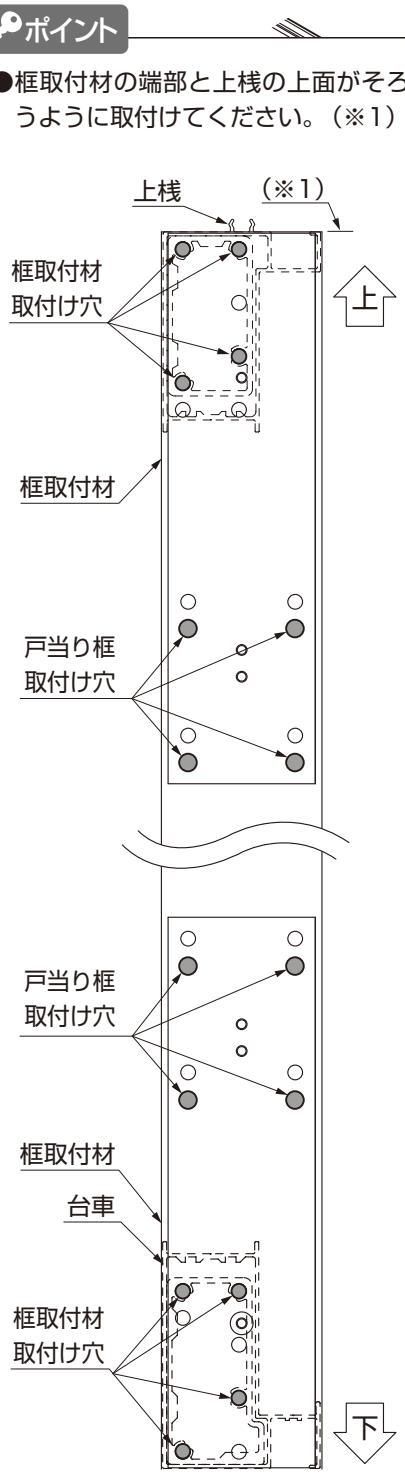
①仮組みしているハンドルセットの「ハンドル組付ネジ」を緩めて外してください。
②ハンドルセットを、ハンドル道路側とハンドル敷地側に分けてください。
③框にハンドル道路側とハンドル敷地側を「ハンドル組付ネジ」で取付けてください。その際、図のようにハンドルスペーサー間に通して取付けてください。

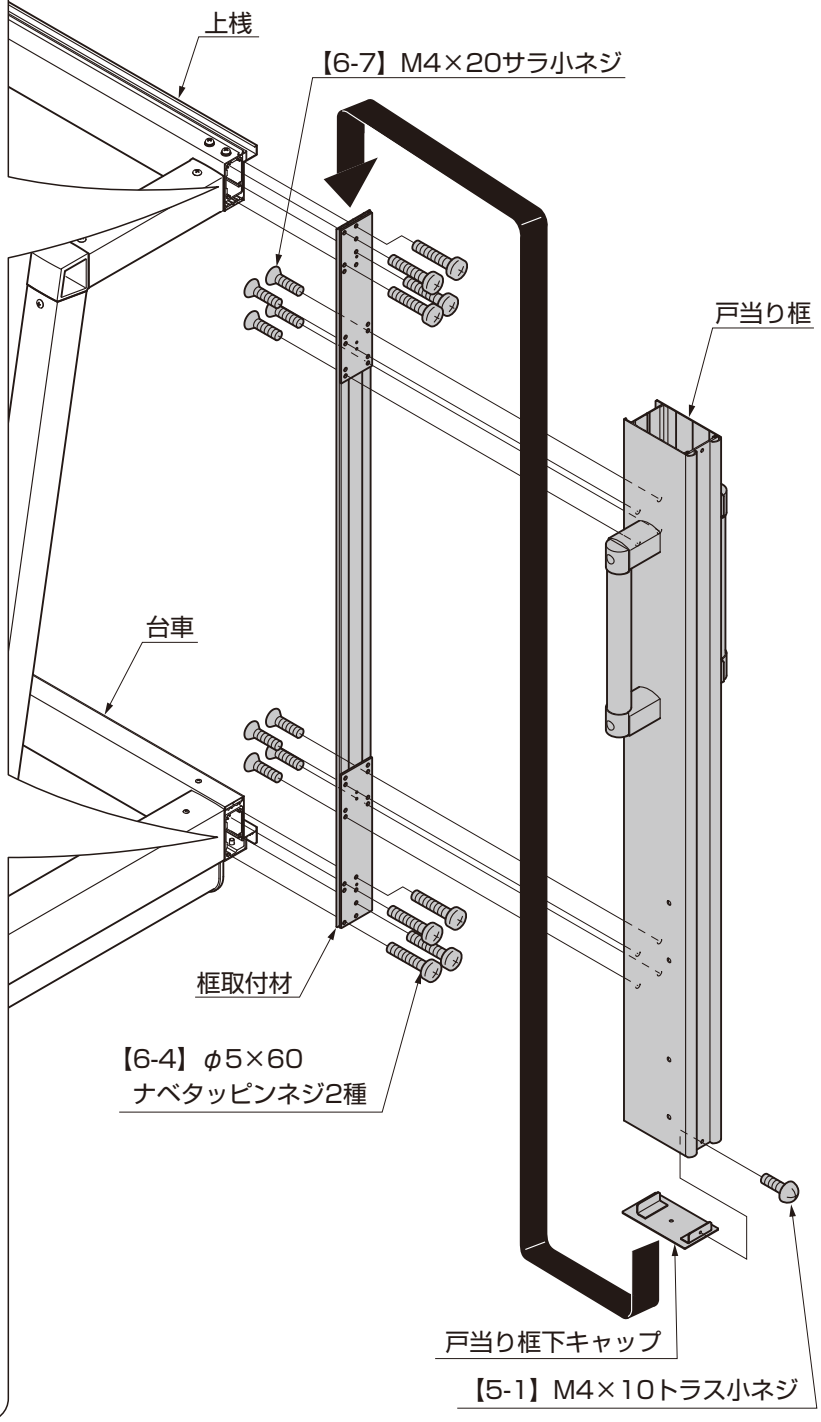
5.（つづき）

5-3 戸当り框の取付け ※単独・先頭の場合の作業です。

ポイント

●框取付材の端部と上桟の上面がそろうように取付けてください。（※1）





①框取付材を上桟と台車に【6-4】で取付けてください。
②戸当り框を框取付材に挿入し、【6-7】で取付けてください。
③戸当り框下キャップを【5-1】で取付けてください。

D631_201507B

4　パネルの施工

1. F1パネルの場合

1-1　板張り端部取付材、板張り中間取付材の取付け

ポイント

●板張り端部取付材には上下があります。端部から2つ目の意匠板取付穴が短い方が上側、長い方が下側となります。

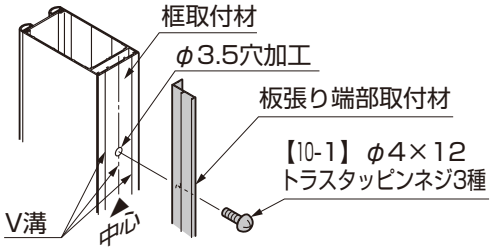
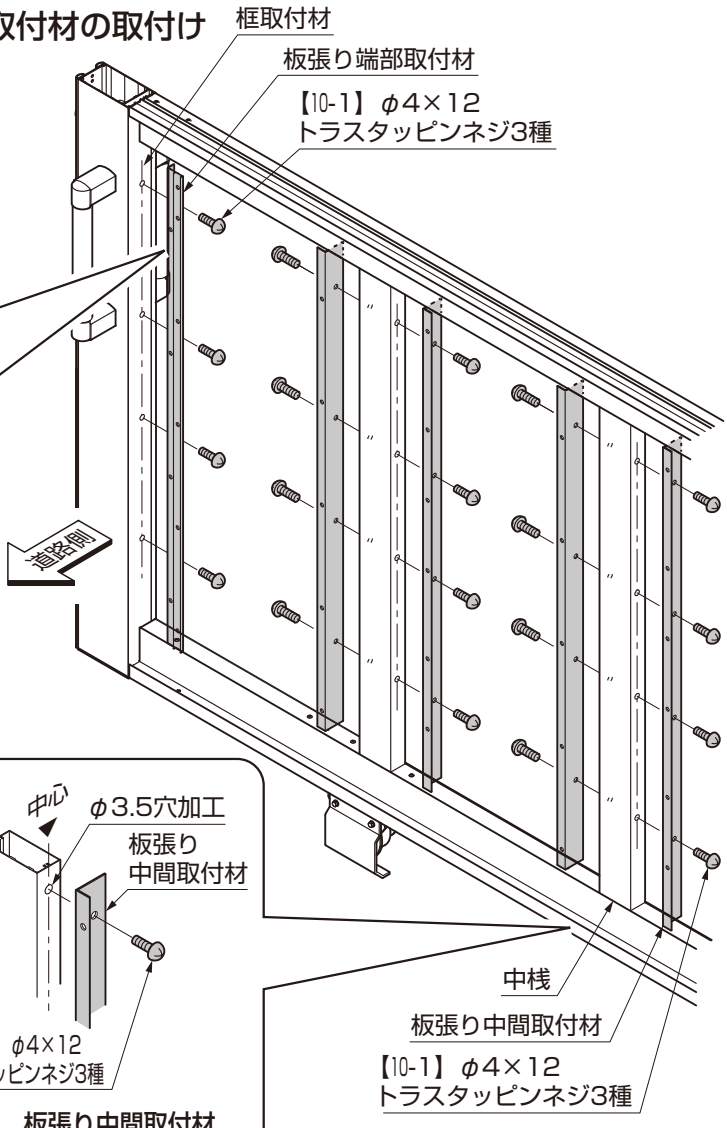
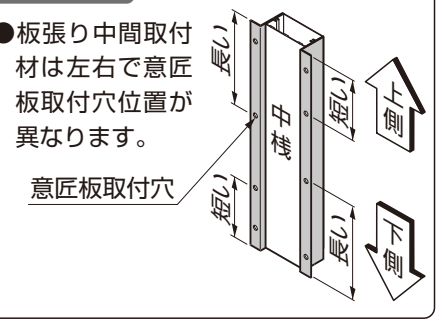


図1-2　板張り端部取付材



ポイント

●板張り中間取付材は左右で意匠板取付穴位置が異なります。



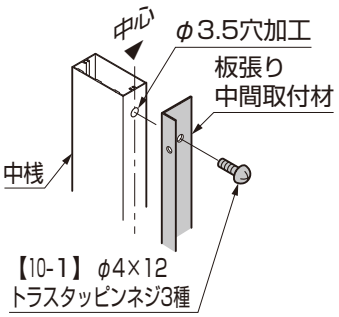
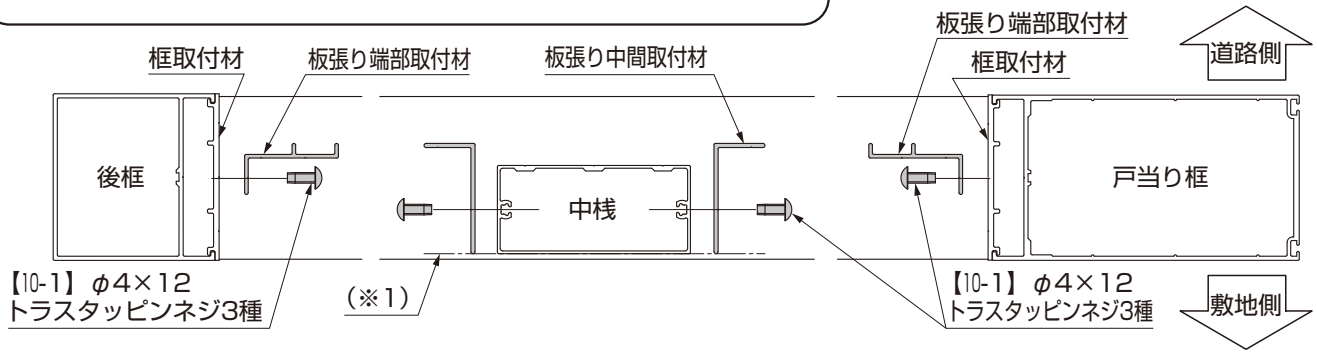


図1-1　板張り中間取付材



①板張り中間取付材を中桟にあてがい、中桟の中心にφ3.5の穴加工をしてください。(図1-1参照)

補足

●板張り中間取付材の位置は中桟の敷地側にそろいます。(※1)

②板張り中間取付材を①の加工穴に【10-1】で取付けてください。(図1-1参照)
③板張り端部取付材を框取付材にあてがい、框取付材の中央のV溝にφ3.5の穴加工をしてください。(図1-2参照)
④板張り端部取付材を③の加工穴に【10-1】で取付けてください。(図1-2参照)

1.（つづき）

1-2　意匠板の加工（敷地側から見た図）

ポイント

●意匠板は部位により加工が異なります。

意匠板(最上部)
意匠板(中間部)
：
意匠板(中間部)
意匠板(最下部)

表1-1

サイズ	n
W30	1
W40	2
W50	3
W60	4

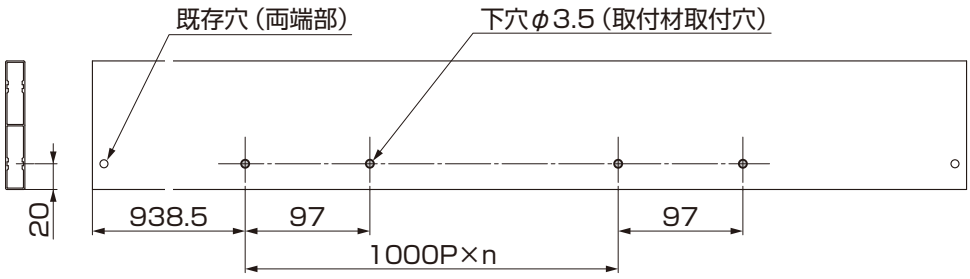


図1-3　最上部

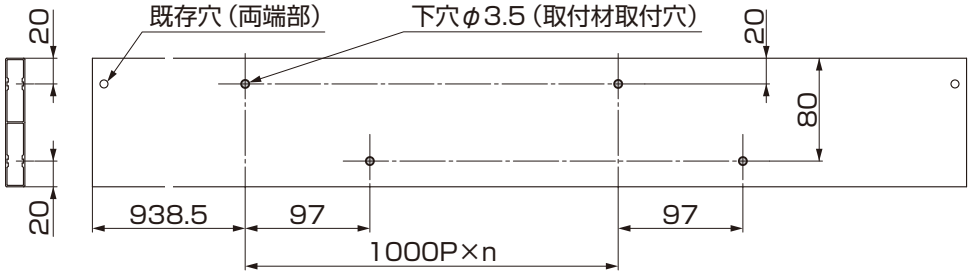


図1-4　中間部

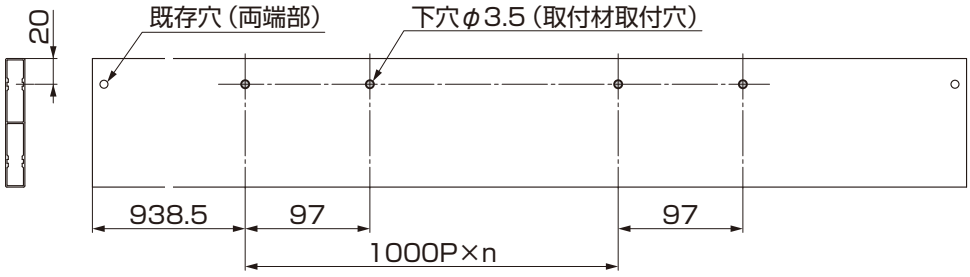
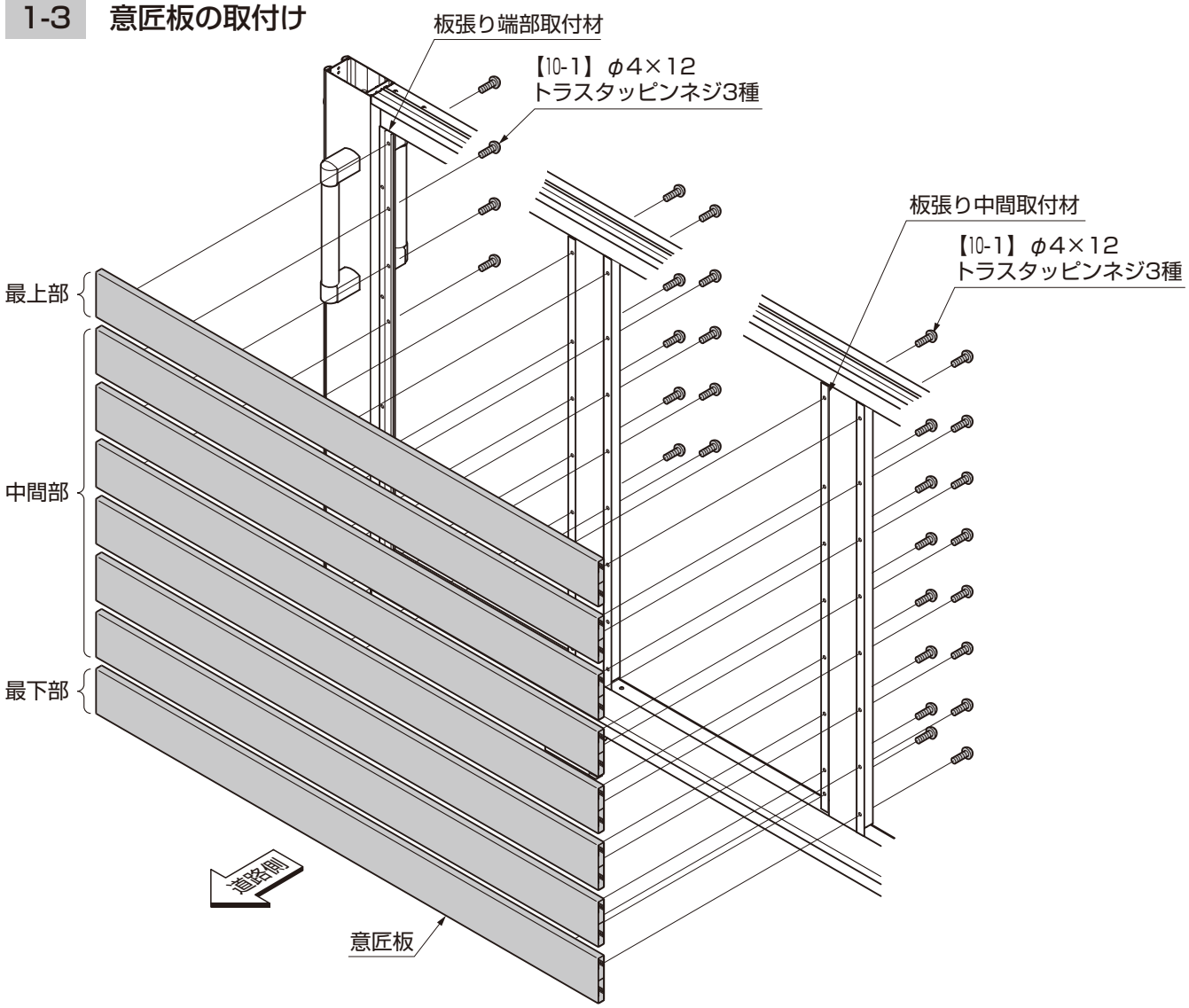


図1-5　最下部

①最上部、中間部、最下部の意匠板を加工してください。（図1-3、図1-4、図1-5参照）

1-3 意匠板の取付け



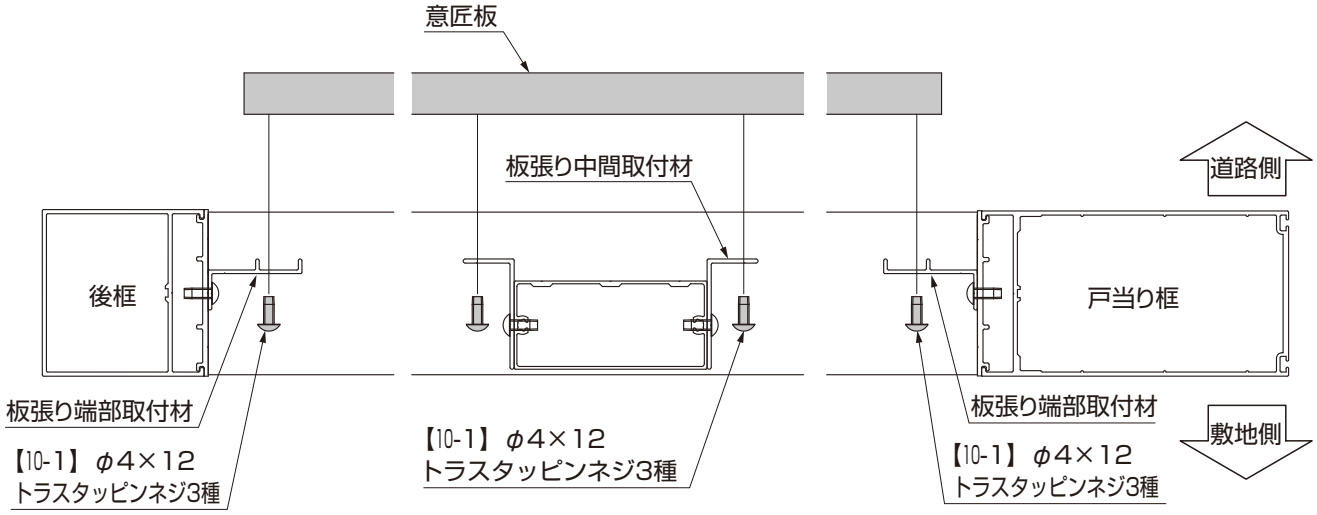
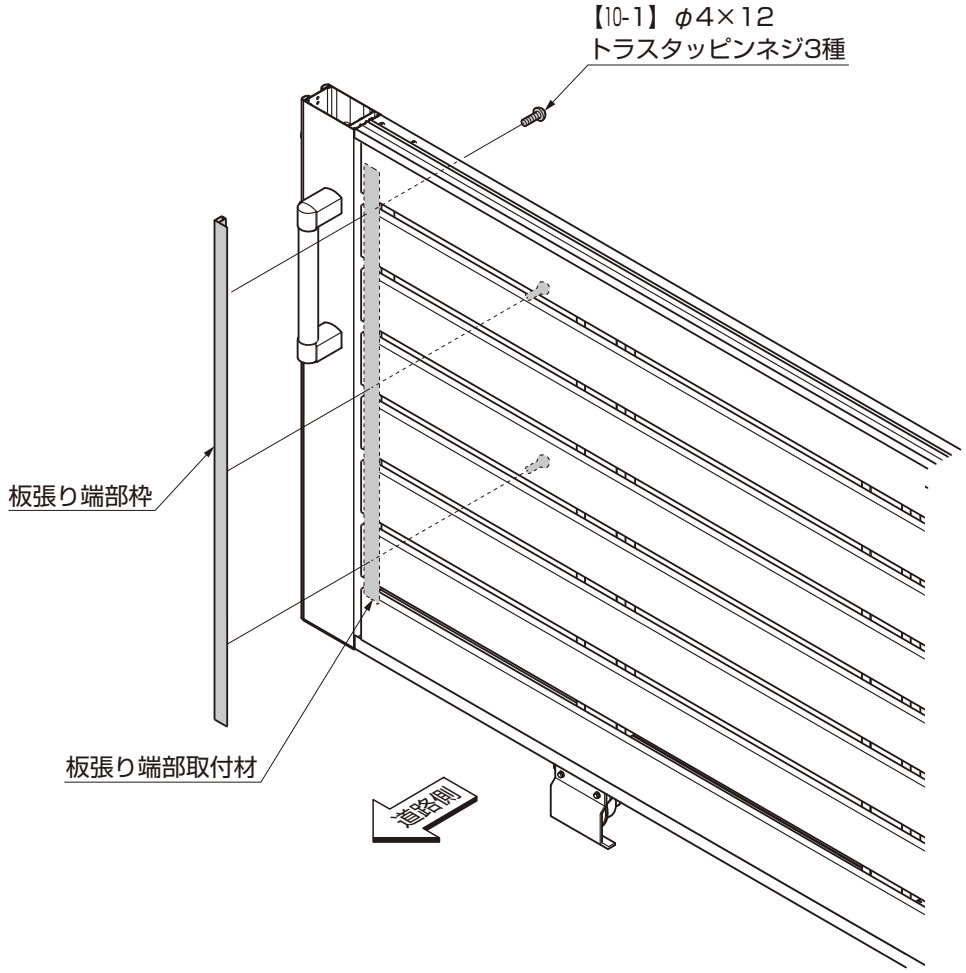


図1-6

①意匠板を板張り端部取付材と板張り中間取付材に【10-1】で取付けてください。

1.（つづき）

1-4　板張り端部枠の取付け



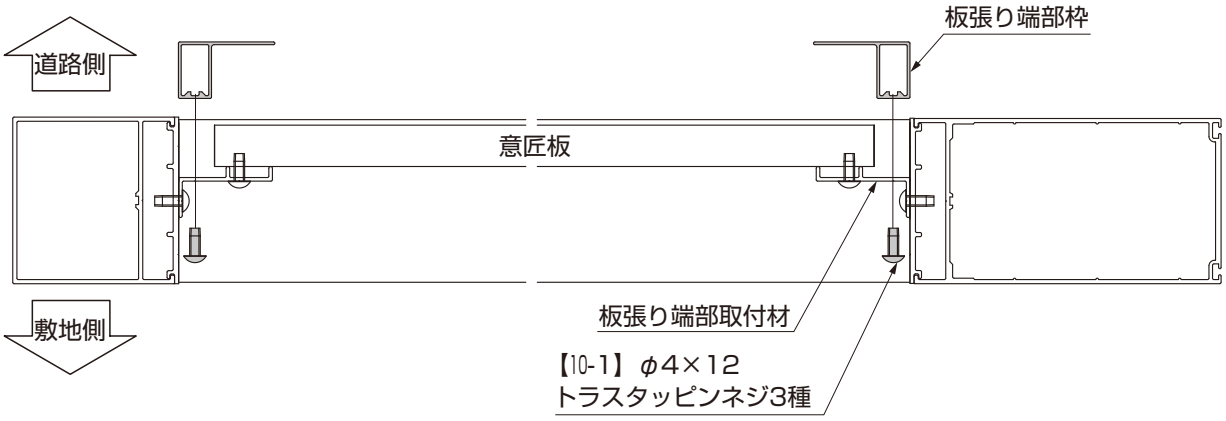


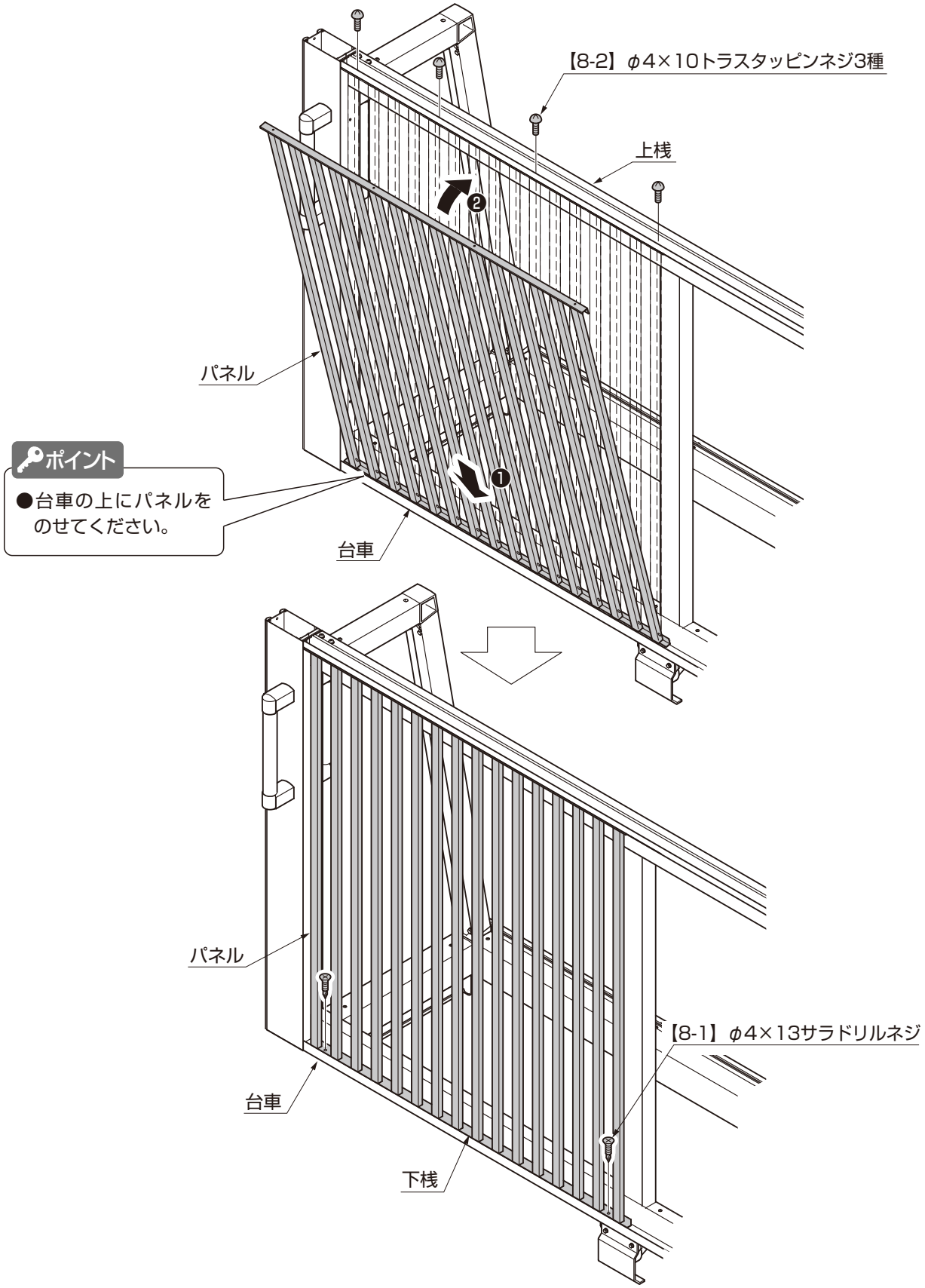
図1-7

①板張り端部枠を板張り端部取付材に【10-1】で取付けてください。

補 足

●板張り端部枠がはまらない場合は意匠板の固定ねじをゆるめて調整してください。

2. F2パネルの場合

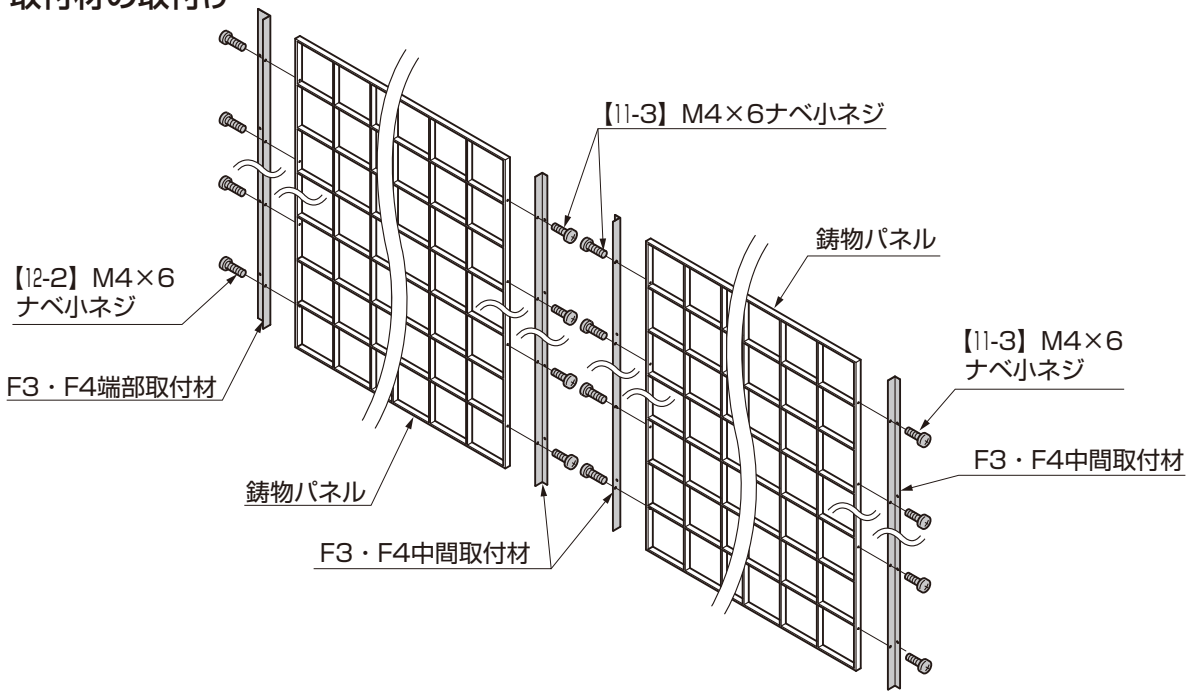


①パネル下桟を台車にのせてから上桟に【8-2】で取付けてください。
②パネル下桟を台車に【8-1】で取付けてください。

D631_201504A

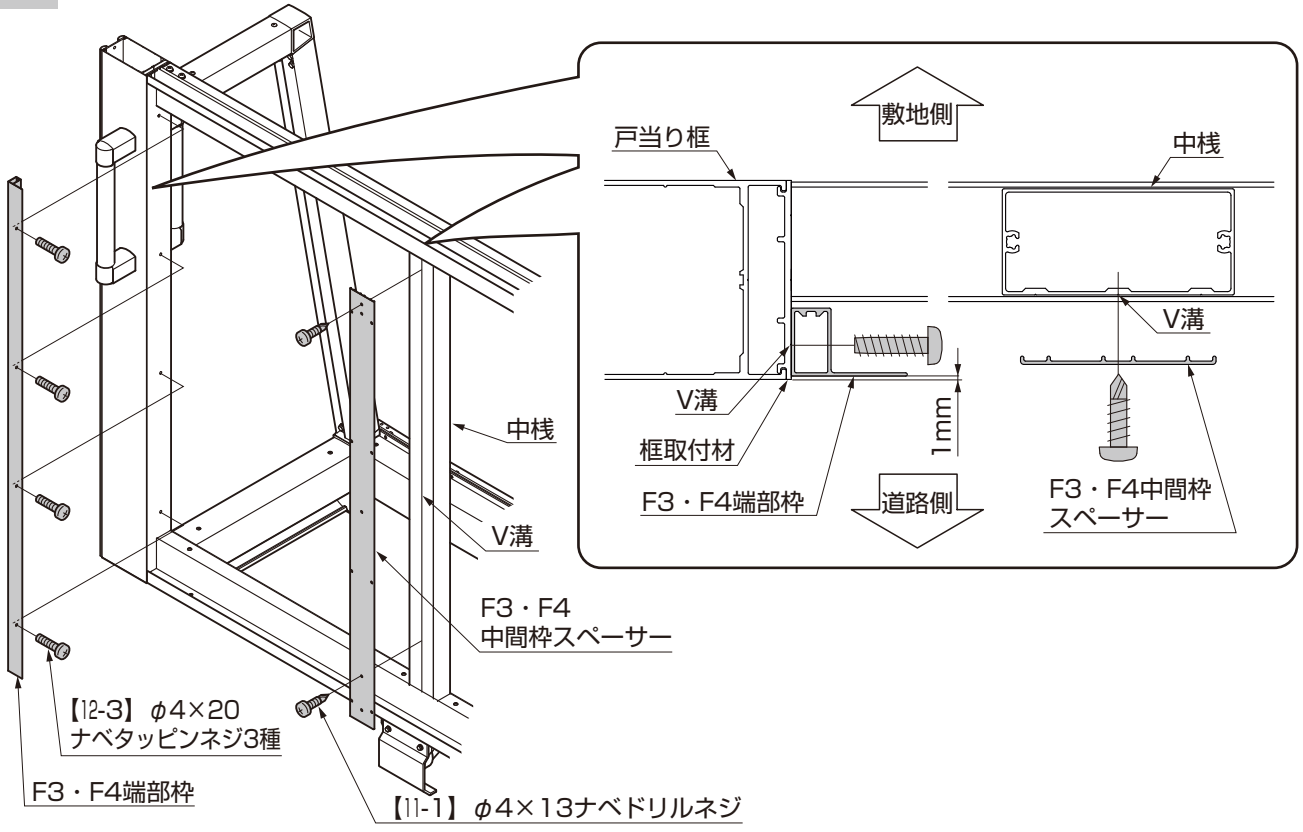
3. F3・F4パネルの場合

3-1 取付材の取付け



①端部に取付ける鋳物パネルの端部側にF3・F4端部取付材を【12-2】で取付けてください。
② ①の反対側にF3・F4中間取付材を【11-3】で取付けてください。
③ 中間に取付ける鋳物パネルの左右にF3・F4中間取付材を【11-3】で取付けてください。

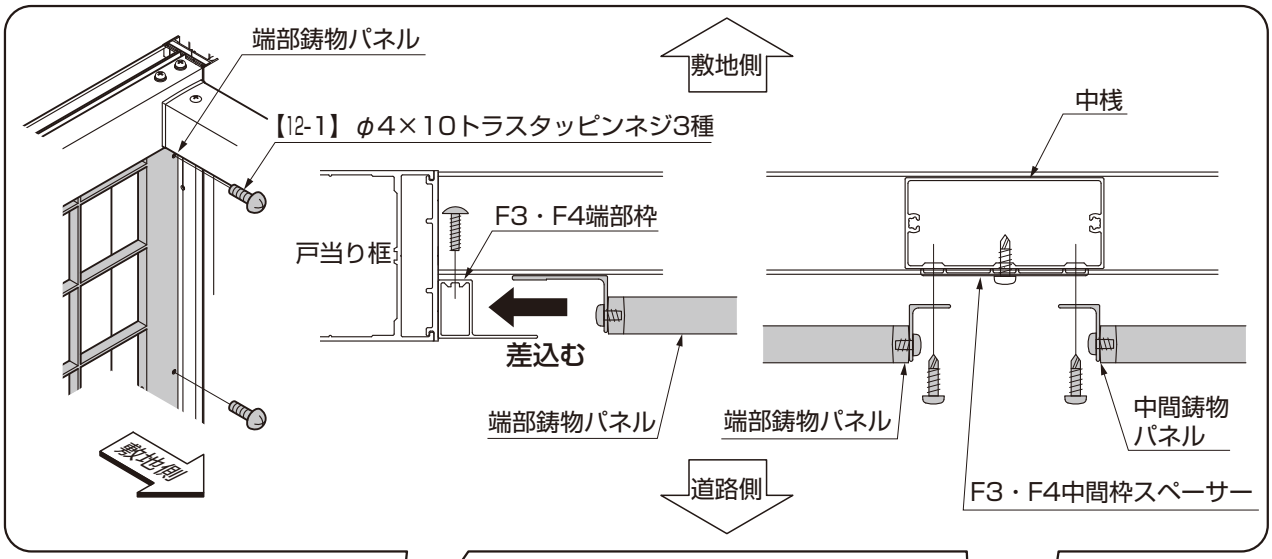
3-2 パネル中間枠スペーサー、パネル端部枠の取付け

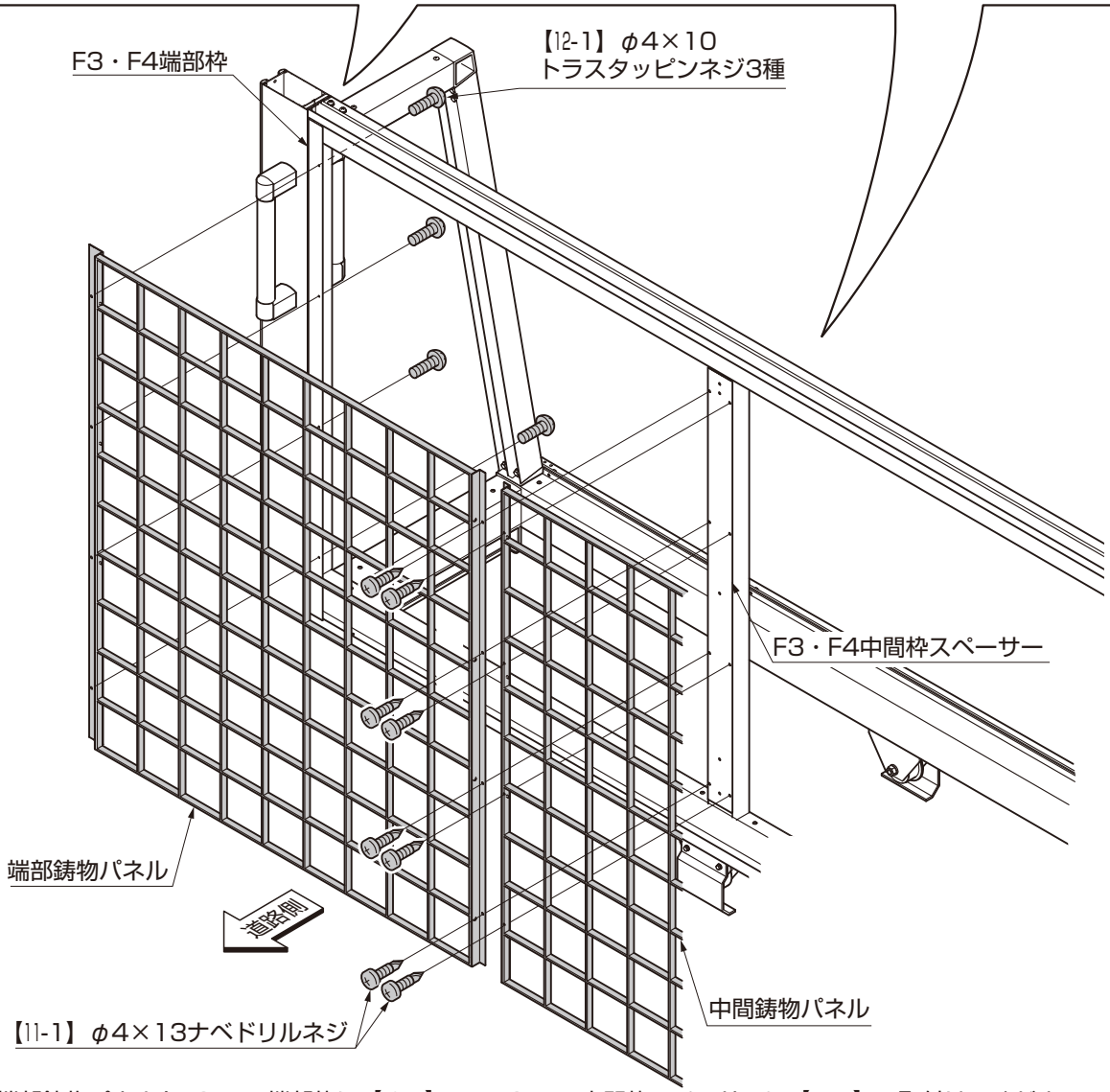


①F3・F4中間枠スペーサーを中桟の中心のV溝に【11-1】で取付けてください。
②F3・F4端部枠を框取付材の道路側のV溝に【12-3】で取付けてください。

D631_201504A

3-3 パネルの取付け

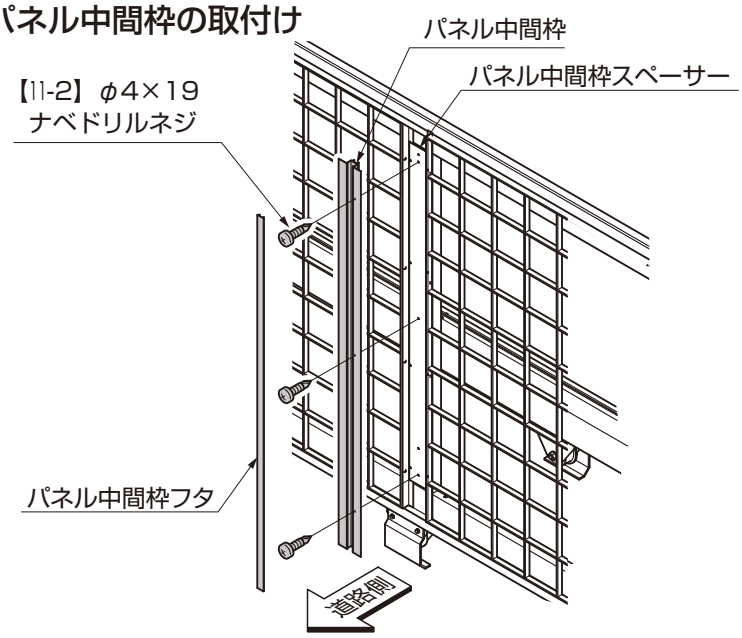




①端部鋳物パネルをF3・F4端部枠に【12-1】で、F3・F4中間枠スペーサーに【11-1】で取付けてください。
②中間鋳物パネルをF3・F4中間枠スペーサーに【11-1】で取付けてください。

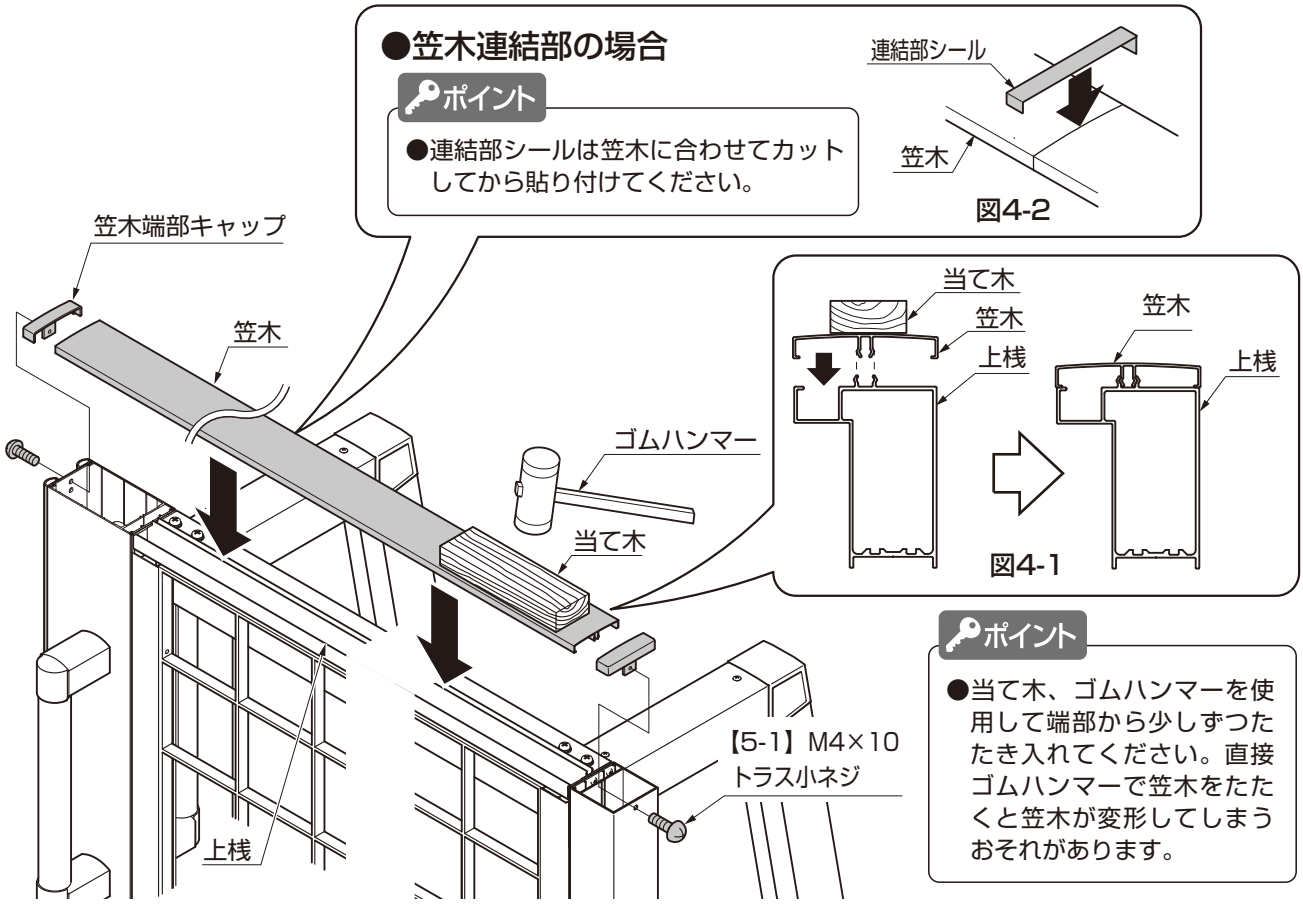
3.（つづき）

3-4 パネル中間枠の取付け



①パネル中間枠をパネル中間枠スペーサーに【11-2】で取付けてください。
②パネル中間枠フタをパネル中間枠にはめ込んでください。

4. 笠木の取付け



●笠木連結部の場合

ポイント

●連結部シールは笠木に合わせてカットしてから貼り付けてください。

図4-2

図4-1

ポイント

●当て木、ゴムハンマーを使用して端部から少しずつたたき入れてください。直接ゴムハンマーで笠木をたたくと笠木が変形してしまうおそれがあります。

①笠木を上桟にはめ込んでください。(図4-1参照)
②笠木端部キャップを【5-1】で取付けてください。
③笠木連結部には連結部シールを笠木に合わせてカットして笠木に張り付けてください。(図4-2参照)

D631_201805C

5　部品の取付けと調整

1-1　前後ストッパーの取付け

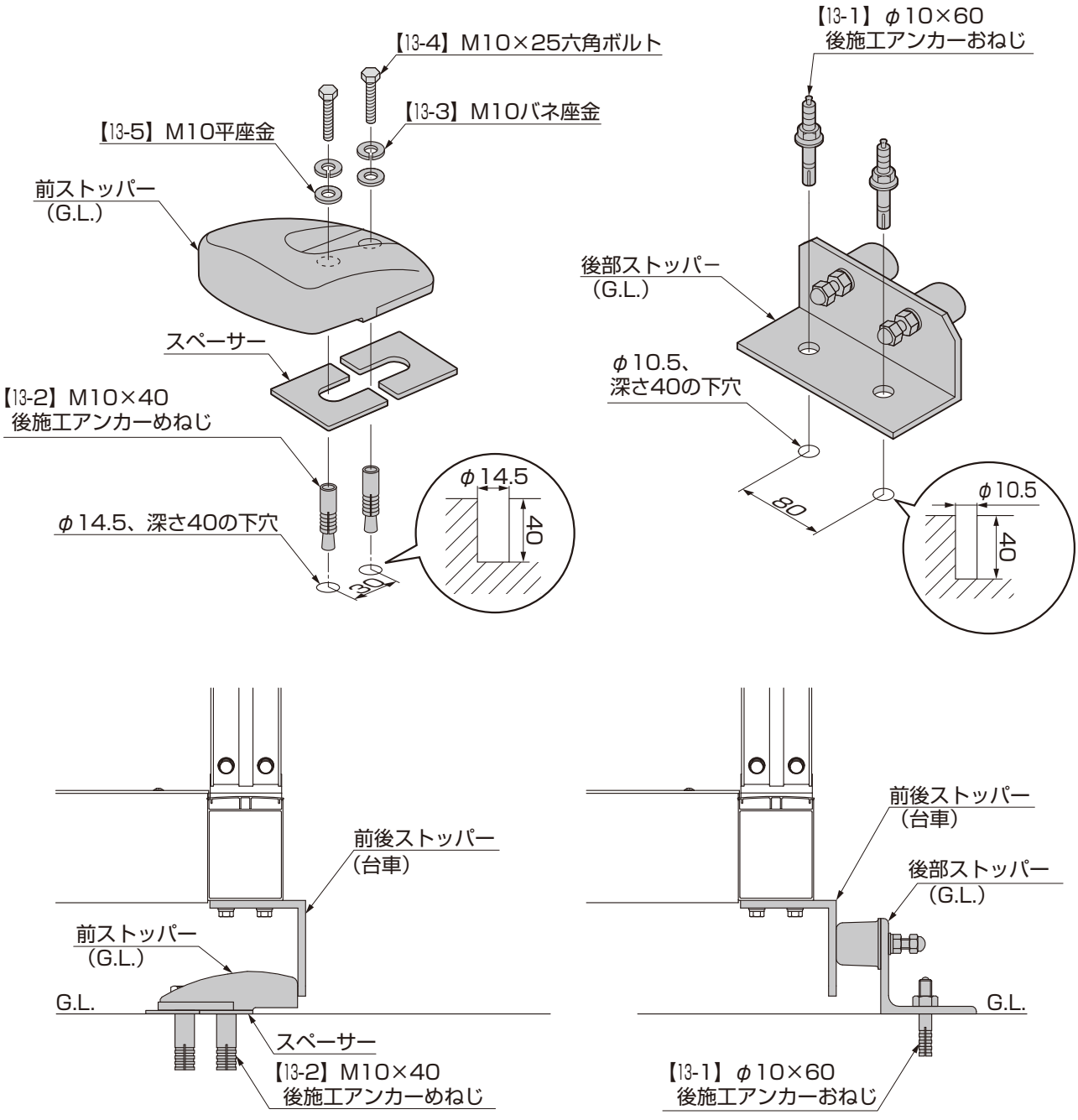


図1-1　全閉時　　図1-2　全開時

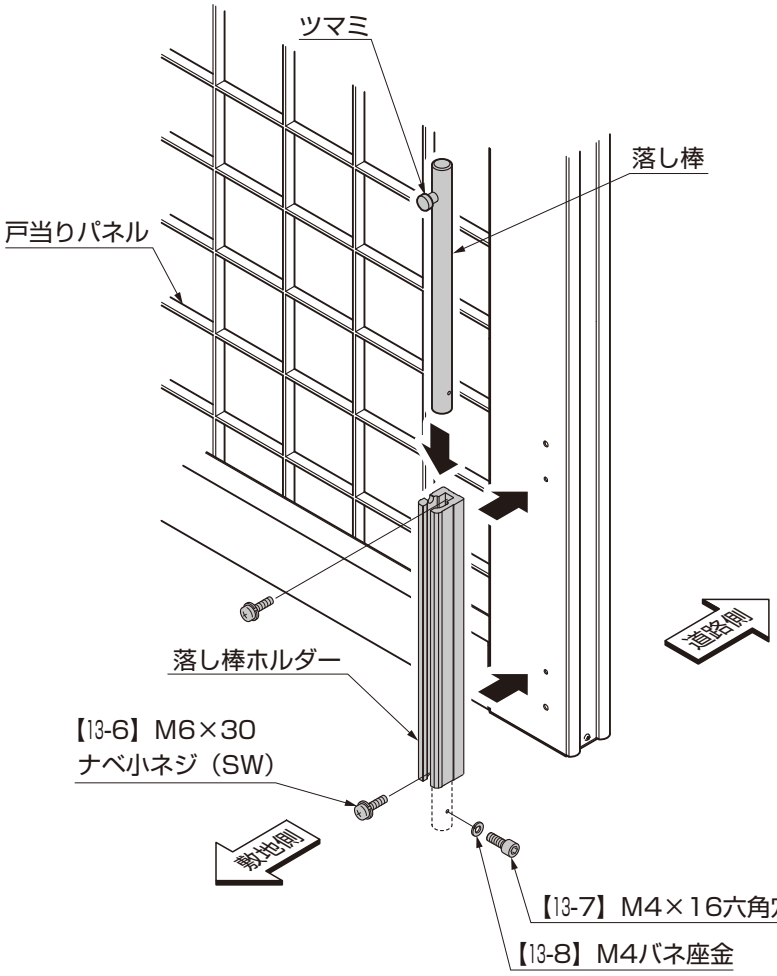
①前ストッパー、後部ストッパーは本体が組上がった後、現場の納まりに合わせて固定してください。

ポイント

●前後ストッパーと前ストッパー、後部ストッパーがそれぞれきちんと当たる位置に施工してください。
●ボルト、ネジ類は、ガタつきのないよう確実に締付けてください。

1-2 落し棒・落し棒受けの取付け

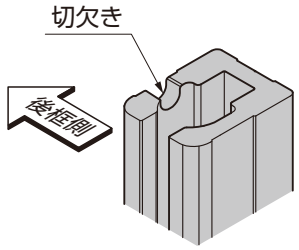
（1）落し棒の取付け



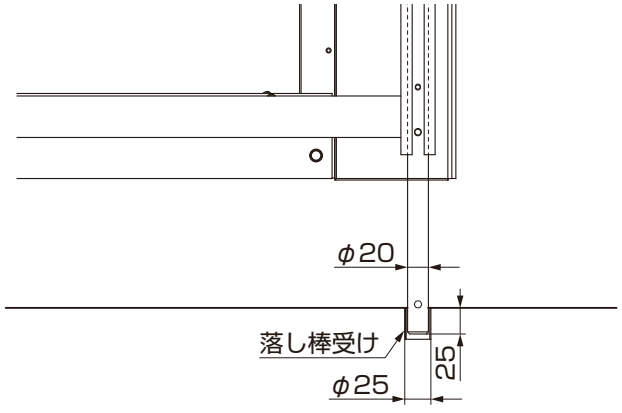
①落し棒ホルダーを戸当りパネル敷地側に【13-6】で取付けてください。
②落し棒を両方の落し棒ホルダーに通してから【13-7】、【13-8】を取付けてください。

ポイント

●落し棒ホルダーは切欠き部が後框側になるように取付けてください。



（2）落し棒受けの取付け



①落し棒受けは、引戸を閉めた状態と開けた状態で、落し棒が落し棒受けに入る位置に各々埋込んでください。

取説コード
D631
JZZ634834
201504A_1039
201805C_1039